

令和7年度

岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書

(令和6年度事務事業対象)

令和7年10月

岩出市教育委員会

はじめに

岩出市教育委員会は、第3次岩出市長期総合計画に掲げたまちづくりの基本方針である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向け、教育目標である「人間性豊かな児童生徒の育成」を目指し、「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」を重点目標として掲げ、様々な教育活動を推進してまいりました。

令和6年度は、「学びの場の充実と生き生きとしたスポーツ・文化活動の推進」を主要施策に掲げ、これまで培った知見と経験を活かし、市民の皆様の期待に応えるべく、より一層の教育活動の充実と深化を目指し、教育部全職員が一丸となって全力で取り組みました。

本報告書は、令和6年度における施策の効果を検証し、当教育委員会の課題を抽出し、今後の教育行政展開の方向性を明らかにするとともに、絶えず改善を図りながら、市民から信頼される教育行政を推進するため、令和6年度に実施した事務事業の点検・評価をまとめたものです。

今回の点検・評価の結果を踏まえ、社会がどのように変化しようとも子供たちがふるさとへの誇りと愛着を持ち、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、そして、たくましく生きていくための健康や体力をバランス良く育むことに努めるとともに、市民誰もが主体的に学び続け、学びの成果が生かされる生涯学習社会の実現を目指し、市民から信頼される教育行政の推進に尽力してまいります。

令和7年10月

岩出市教育委員会

[語の表記について]

本紙では、「こども」の表記について事業名を除き、常用漢字表（平成22年内閣告示第2号）に基づき「子供」に統一しています。

目 次

I	岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について	
1	目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	実施方法について・・・・・・・・	1
3	評価項目・内容について・・・・・・・・	1
4	点検・評価の経過・・・・・・・・	2
5	教育委員会評価委員・・・・・・・・	2
6	点検・評価結果	
	【教育総務課】	
(1)	学校環境の充実（教育環境の整備）・・・・・・・・	3
(2)	学校環境の充実（教育相談の充実）・・・・・・・・	5
(3)	学校環境の充実（家庭・地域との連携）・・・・・・・・	6
(4)	豊かな学びと学力向上（学力の向上）・・・・・・・・	7
(5)	豊かな学びと学力向上（心身の健全育成）・・・・・・・・	8
(6)	豊かな学びと学力向上（学校給食の充実）・・・・・・・・	10
(7)	青少年健全育成の推進（青少年を取り巻く環境整備）・・・	11
(8)	青少年健全育成の推進（青少年の活動推進）・・・・・・・・	12
(9)	青少年健全育成の推進（自立と成長の促進）・・・・・・・・	13
(10)	国際化の推進（多文化共生の推進）・・・・・・・・	15
	【生涯学習課】	
(1)	学校環境の充実・・・・・・・・	16
(2)	青少年健全育成の推進・・・・・・・・	17
(3)	文化・芸術活動の推進・・・・・・・・	18
(4)	生涯学習の充実・・・・・・・・	20
(5)	生涯スポーツの推進・・・・・・・・	22

(6) 人権尊重の推進	26
(7) 文化遺産の保護・活用	27
(8) 歴史・伝統文化の振興	28

【岩出図書館】

(1) 図書館事業の充実（図書館運営事業）	30
(2) 図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）	32

【民俗資料館】

歴史・伝統文化の振興	35
------------	----

7 教育委員会の点検・評価シート

【教育総務課】

点検・評価シート	38
----------	----

【生涯学習課】

点検・評価シート	55
----------	----

【岩出図書館】

点検・評価シート	83
----------	----

【民俗資料館】

点検・評価シート	87
----------	----

II 関連資料

○令和7年度教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出について	89
○教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見	91
○岩出市教育委員会評価等実施要綱	94

I 岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、毎年、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的として実施する。

2 実施方法について

- (1) 教育委員会事務局の2課（教育総務課・生涯学習課）・2館（岩出図書館・民俗資料館）の令和6年度の主要な事務事業を抽出し、各事業について妥当性、効率性、有効性などについて自己評価を行う。
- (2) 評価委員に（1）の事務事業について、担当職員等が説明を行い、複数回意見をいただく。
- (3) 評価委員の意見をもとに教育委員会が評価を行い、PDCA¹、DLTG²、OODA³のマネジメントサイクルを適切に使い分け、今後の方針・施策に反映させ、継続的に事務改善を図る。
- (4) 法律に則り議会へ提出するとともに内容を公表（web）する。

3 評価項目・内容について

- (1) 各事業を、第3次岩出市長期総合計画に基づき【基本施策（重点施策）】ごとにまとめ、施策単位で点検・評価を実施する。構成は、〔基本方針〕〔主な取組状況〕〔総合評価〕〔評価委員会の意見〕とする。別添で、各課・館毎に評価シートを作成する。
- (2) 評価については、4段階評価とする。
「a：期待以上」、「b：期待どおり」、「c：やや下回る」、「d：期待以下」
- (3) 今後の方向性については、4つの基準を示す。
「廃止」、「見直し」、「完了」、「継続」

¹ PDCA = 「Plan（計画）」「Do（行動）」「Check（確認）」「Act（実行）」
仮説・検証型プロセスを循環させ、マネジメントの品質を高める枠組

² DLTG = 「Do（行動）」「Listen（観察）」「Think（考察）」「Grow（成長）」
実践と修正を細かく繰り返す枠組

³ OODA = 「Observe（観察）」「Orient（状況判断）」「Decide（意思決定）」「Act（実行）」
迅速かつ正しい意思決定を行うための枠組み

4 点検・評価の経過

年 月	会 議 等	内 容
令和7年 7月	事務事業評価（各課・館）	事務事業評価（自己評価）の実施
令和7年 8月	第1回 点検・評価委員会	各事務事業の説明 各事務事業に対する質問・意見
令和7年 9月	第2回 点検・評価委員会	各事務事業に対する意見のまとめ
令和7年10月	10月定例教育委員会	点検・評価報告書のまとめ
令和7年10月	点検・評価報告書を市議会に提出、web公表	

5 教育委員会評価委員

氏 名	任 期
奥田 富代子	令和7年4月1日～令和9年3月31日
鈴木 晴久	令和7年4月1日～令和9年3月31日
鳥羽 孝幸	令和7年4月1日～令和9年3月31日

6 点検評価結果【教育総務課】

(1) 学校環境の充実（教育環境の整備）

〔基本方針〕

老朽化が進む学校施設の長寿命化を図るとともに、気温や感染症などの学校環境、通学時の安全確保、就学援助による経済的負担軽減など、児童生徒が安全で安心な学校生活が送れるよう、学校環境整備の充実を図る。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 小・中学校の施設整備については、長寿命化計画に基づく下水道接続及びトイレ改修及び緊急性、優先度を設けた修繕を実施するとともに本年度では全小学校への防犯カメラを設置し、児童の安全確保を図った。

（工事实績）

小学校 13件、111,682,596円

中学校 6件、105,306,300円

- 通学路整備工事については、各学校より危険箇所の報告を受け、関係機関（学校、PTA、土木課、警察署、振興局、教育委員会）等の合同点検を実施し、改修工事を施工した。

（工事实績）

岡田地区通学路整備工事ほか4件、5,995,728円

- 教材・教具等の整備については、小・中学校から優先順位リストの提出を受け、教育委員会で精査・整備し、児童生徒の学習意欲の向上及び教職員の指導効率化に寄与できた。

図書については、すべての小・中学校で蔵書数は標準冊数に達している。

（整備実績）

小・中教材備品計 6,566,974円

小・中理振備品計 893,860円

小・中図書購入計 5,627,250円

- 特別支援教育就学奨励費扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。

小学校：134名 支給額計 3,000,330円

中学校：41名 支給額計 1,707,950円

- 要保護・準要保護児童生徒扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。また、新入学用品費、修学旅行費の事前支給を行い、保護者負担の軽減に努めた。

小学校：307名（うち要保護0名） 支給額計19,357,210円

中学校：205名（うち要保護3名） 支給額計19,726,528円

- 紀の国森づくり税を財源とした紀の国緑育推進事業については、小学校全校で現地学習、事後学習を実施することができた。

- ・ 森林体験（間伐体験・森のめぐみ体験）

参加児童数：483名 場所：日高川ふれあいドーム

- ・ 森林学習（木工体験）

参加児童数：483名 場所：各小学校

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 小・中学校施設改修事業2事業については、評価委員からの指摘どおり、引き続き岩出市立学校施設長寿命化計画に基づく計画的な工事の実施と施設の老朽化に伴う学校からの要請に応じた修繕に迅速に対応できた。
- 要保護・準要保護児童生徒扶助事業については、要綱に基づいた的確な支給による経済的補助を行うことで、義務教育の円滑な実施に取り組んだ。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（教育環境の整備）については、7事業の評価を実施し、7事業とも総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- ソフト・ハードの両面において、各事業の目的の実現に向け、計画どおり実施、また評価委員からの前年度指摘事項に対する取組を実施できた。

〔評価委員会の意見〕

- 引き続き学校施設の長寿命化に努めるとともに、通学路の危険個所の改修を図られたい。

- 次世代の STEAM⁴教育への対応等、今後の教育動向を見据えた環境の充実に努められたい。

(2) 学校環境の充実（教育相談の充実）

〔基本方針〕

心理的要因等により学校生活になじめず登校できない児童生徒（不登校児童生徒）の学校生活への復帰や社会的自立を目指し、教育支援センター（名称：フレンド）と在籍校及びスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどと連携し、教育相談の充実を図る。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 令和6年4月、フレンドの開室時間を延長（9時～12時⇒9時～16時）し、令和6年10月1日からフレンドでの給食提供を開始した。

（通室実績）

入室児童・生徒数：小学生6名、中学生23名（別途体験小学生3名、中学生3名）

延べ日数：小学生467日、中学生1,258日

来所相談件数：4件 電話相談件数：0件

学校への訪問：17件、学校からの訪問：161件

学校への電話連絡：146件、学校からの電話連絡：167件

家庭への電話：0件、家庭からの電話：15件

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘のあった活動内容の充実への取組として、フレンド開室時間の延長及び給食を提供することで、児童生徒が家から出る機会の創出となった。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（教育相談の充実）については、1事業の評価を実施し、

⁴ STEAM教育。「科学 (Science)」 「技術 (Technology)」 「工学 (Engineering)」 「芸術・リベラルアーツ (Art)」 「数学 (Mathematics)」 の5つの分野を統合的に学ぶ教育のこと

総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

- 教育支援センター事業については、年々増加傾向にある不登校児童生徒数の削減に向け、フレンドに通う児童生徒の在籍校との連携強化、個別状況の的確な把握、スクールカウンセラーによる保護者相談など総合的な対応が図れた。

〔評価委員会の意見〕

- フレンドに通う児童生徒のニーズを把握し、更なる支援の充実を図るとともに不登校児童生徒のより詳細な実態把握と対策の充実に努められたい。

(3) 学校環境の充実（家庭・地域との連携）

〔基本方針〕

保護者や地域住民の学校教育活動への参加・参画を進め、地域に信頼される学校づくりを行う。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- コミュニティスクール事業については、市内全小・中学校8校にそれぞれ学校運営協議会を設置し前年度と同様の計98名の学校運営協議会委員を任命し、各校年間平均3.1回実施した。

また各運営プランを円滑に実施するためのコミュニティスクール研修会を開催した。

- コミュニティスクール研修会

実施日 2月3日 参加者16名

各学校における「学校運営協議会」の今後の広がりを見据えて、地域連携担当者の資質向上を図った。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 学校運営協議会において、各校の課題解決を図れるよう協議会の持ち方についての研修会を実施した。また各校の協議会へ、オブザーバーとして行政担当者を派遣。情報共有を図った。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（家庭・地域との連携）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 学校や地域が抱える様々な課題を解決するため、運営協議会での効果的な協議や研修会を開催するなど地域とともにある学校づくりに取り組んだ。

〔評価委員会の意見〕

- 学校運営協議会と学校、教育委員会が連携し、地域の多様な人材や資源を取り入れながら、「地域とともにある学校づくり」に取り組まれない。
- 学校運営協議会での協議に基づく施策について広報に努められたい。

（４）豊かな学びと学力向上（学力の向上）

〔基本方針〕

これまでの教育実践に加えて、最先端のICT教育を取り入れ、学校教育や学習体制において、児童生徒の新たな学びを創造し、情報活用能力の育成と併せ、確かな学力と生きる力の育成に取り組む。

また、その育成にあたる教員の指導力向上に向け、研修の実施等による支援に取り組む。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 教育情報化推進事業については、第2期岩出市教育情報化推進計画（R5～R9）に基づき、教員研修や一人一台端末更新に向けての共同調達会議で仕様書作成を行った。
 - ・協働学習の際にICTを効果的に活用できる教員の割合 82.1%
 - ・小学校事業実績額 2,064,343円
 - ・中学校事業実績額 2,106,857円
- 学力向上実践研究事業については、児童生徒の読解力向上に向け、よむYOMUワークシートを導入し、成果のあった学校の取組を市内で共有し、全体的な底上げを目指した。また中学校においては、先進校視察を実施、

参加者で学んだことをとりまとめ、各校に持ち帰り共有を図った。

- ・ 小学校事業実績額 708,724円

主な内容：YOMUワークシート年間30回実施

- ・ 中学校事業実績額 947,941円

学力向上プロジェクト委員会 9回 延72名参加

主な内容：先進校視察（埼玉県久喜市） 2名

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 「分かりやすい授業」の実現するため先進校視察を実施。ICTの活用方法や視察研修の成果を自校だけでなく、市内共有を行ったことで、教員の横のつながりを強め、指導力向上に寄与することができた。

〔総合評価〕

- ◎ 豊かな学びと学力向上(学力の向上)については、2事業の評価を実施し、総合評価は2事業とも「やや下回る」、今後の方向性は「継続」とした。
- 児童生徒の豊かな学びと学力向上に向け、ICTを効果的に活用できる教員の育成を進め、先進校視察を行い、その見地を各校で共有を図ったが、結果に結びつかず、専門性だけでなく、リーダー性を備えた教員の育成が急務である。授業改善に向け、文部科学省のリーディングDXスクール事業を活用するなど抜本的な改善を進めていく必要がある。

〔評価委員会の意見〕

- ICT教育についてはその環境の充実については一定評価する。今後は機器の使用に習熟させるのみならず、ICT教育の意義と今後の方向性をしっかり見据えて指導できる教員の養成が必要である。

(5) **豊かな学びと学力向上（心身の健全育成）**

〔基本方針〕

アスリートクラブ事業として陸上競技を通じ、児童の体力向上と心身の健全

育成を図る。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 暑さが厳しくなる7月から9月は、日陰ができない大宮緑地での記録会を中央小学校に変更し、暑さ対策を講じながら、陸上競技を通じ、小学校3年生から6年生の児童の心身の健全育成に努めた。

実施回数：31回 登録者数：236名 延べ参加者数：3,154名

実施場所：中央小学校又は大宮緑地総合運動公園

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘のあった活動内容の充実に向け、長縄やジャベリックスローの機会を意図的に増やしたり、準備運動の内容を変えたりした。参加登録数は減少したが、参加率は若干の向上が見られた。

〔総合評価〕

- ◎ 豊かな学びと学力向上（心身の健全育成）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「やや下回る」、今後の方向性は「継続」とした。

活動参加率は、46.2%と若干の向上が見られたものの前年度から引き続き目標値の50%を下回った。

- アスリートクラブ事業については、参加率が目標値を超えられない一因として夏場・冬場の参加率が下がることが挙げられる。気候に適した活動内容、活動時間などの対策を行い、運動しやすい環境作りを進めていく。

〔評価委員会の意見〕

- 今後の事業継続と充実には、活動参加率の向上とともに「誰もが楽しく続けられる場作り」と「心身の状態の見える化」が重要と考える。気候面への対応策、参加へのモチベーション施策を検討・実施されたい。
- 夏の暑さ対策については、全国的な大会においても様々な対策が講じられている。それらを参考にしつつ新たな工夫が必要である。

(6) 豊かな学びと学力向上（学校給食の充実）

〔基本方針〕

安全で安心な学校給食を提供するため、地元産の新鮮な食材を取り入れながら、栄養バランスの取れた学校給食の充実と郷土愛を育む。

また、学校給食費の完全徴収を目標に、児童手当からの徴収をはじめ、学校と連携しながら学校給食の健全な運営に努める。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 大規模改修工事として夏休みを利用した配管改修工事を実施。
- 物価高騰の影響から食材の仕入れに苦労した面もあったが、安全で安心な学校給食の提供に努めた。
 - ・地産地消率 55.7%（前年度対比△4.9%）
- 給食費の徴収については学校との連携により保護者懇談時を利用した納付交渉など地道な努力により、現年は前年度を上回る結果を得た。
 - ・徴収率 現年度分 99.80%（前年度対比+0.11%）
滞納繰越分 80.41%（前年度対比－4.47%）
- 県の補助金を活用し、10月から給食の無償化を実施した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘事項であった「滞納への厳格な対応」について、督促状・催告状の送付、未納者との面談、児童手当からの徴収、支払督促申立て等を実施することで、現年度分徴収率は99.80%、対前年度+0.11%となった。

給食費は無償化となったが、残っている滞納繰越分については、完納に向け、引き続き徴収に取り組む。

〔総合評価〕

- ◎ 豊かな学びと学力向上（学校給食の充実）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待通り」、今後の方向性は「継続」とした。
- 計画的な施設整備の実施及び衛生管理の徹底に努め、児童生徒に安全で安心なおいしい給食を提供できたものとする。

- 小中学校の学校給食を無償化することで、子育て世帯における経済的負担の軽減が図れた。
- 物価高騰の影響により食材確保が困難となっており、献立を立てる際に課題となっている。

〔評価委員会の意見〕

- 給食費徴収率向上への地道な努力で、今後も滞納繰越分の早期解消の姿勢を継続されたい。
- 学校給食の無償化について評価する。物価高騰の折から食材確保等については引き続き尽力いただきたい。

(7) 青少年健全育成の推進（青少年を取り巻く環境整備）

〔基本方針〕

学校・家庭・地域及び行政が一体となり、子供たちが安心・安全に学校生活を送れるよう、青少年への犯罪防止に努める。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 登下校時の危険防止のため、児童携帯用防犯ブザー購入費を補助し、防犯ブザーの携帯を奨励した。

各家庭で入学前に個人で事前に購入するなど、申請率は高くない。

また防犯グッズの所持率は学年が上がるにつれ低くなっている。

- ・ 補助対象者 185名（前年度182名）
申請率40.1%（前年度36.8%）
- ・ 防犯ブザー所持率 小学生71.3%（前年度74.5%）
1年生82.1%（前年度88.1%）

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 防犯ブザーの継続的なメンテナンスについて、もしもの時に確実に使えるよう、4月に防犯ブザーの基本的な使い方、防犯ブザーの付ける場所、定期

的な点検等について保護者に周知を行った。

〔総合評価〕

- ◎ 青少年健全育成の推進（青少年を取り巻く環境整備）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 防犯ブザー補助事業については、小学1年生の所持率は、4年連続で目標とする評価指数80%を超えることができた。引き続き所持を促すためにも本事業を今後も推進するとともに正しい携帯の仕方や点検の啓発を進めて行く。

〔評価委員会の意見〕

- 児童携帯用防犯ブザー補助事業は地域の安全・安心に資する有意義な事業と評価できる。今後はより高い申請率・所持率、日常管理の啓発に取り組まれない。

（８）青少年健全育成の推進（青少年の活動推進）

〔基本方針〕

防災意識が高まる中、被災時には地域の救援活動の核となる中学生に対し、実践的な防災訓練を実施するとともに、家庭・学校・地域などで防災に関する啓発や指導のできる人材育成を目指す。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 中学校防災訓練については、災害への危機意識を高める授業の一環として、中学3年生全員を対象として、那賀消防組合、市消防団及び市危機管理室等の協力を得て実施した。

（参加状況）

岩出中学校：234名 岩出第二中学校：229名

- 防災ジュニアリーダー育成事業については、防災ジュニアリーダー育成講

座を那賀消防組合防災センターで実施。

防災センター職員による丁寧な指導のもと、防災の啓発・指導・実践活動ができるジュニアリーダーの育成が行われた。

(参加状況)

防災ジュニアリーダー育成講座 22名

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘のあった「防災ジュニアリーダー育成講座を通して学校管理下外や緊急時に臨機応変に対応できる行動力の育成に努める」ことについて、避難所運営ゲームを取り入れ、避難所運営を疑似体験することで、避難生活に必要な視点について考える機会にできた。

〔総合評価〕

- ◎ 青少年健全育成の推進（青少年の活動推進）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 関係機関の協力のおかげで、コロナ禍で中止していた水消火器による消火訓練を実施することができた。
- 防災ジュニアリーダー育成事業の受講生アンケート結果から本事業に対する肯定的な回答を得られた。今後も内容を精選して地域防災活動における中心的な役割への意識づけを目指していく。

〔評価委員会の意見〕

- 南海トラフが何時起こってもおかしくない状況において、中学生の主体的な防災行動を更に育成するため、学校管理下外や緊急時にも対応できる柔軟な行動力の育成と、地域防災活動の核となるリーダーの育成に努められたい。

(9) 青少年健全育成の推進（自立と成長の促進）

〔基本方針〕

望ましい勤労観、職業観の育成のために、生徒が直接働く人と接し実地的な

知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させる。

また、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲を培うための教育活動として充実を図る。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 和歌山を元気にする職場体験事業については、基本的な感染症対策を講じつつ、各企業の受け入れによる職場体験を実施できた。

職場体験にあたっては、マナー教室の開催により社会規範やマナー等の必要性を感じさせるとともに、PASカード（学年別進路適性診断システム）を使用することで、将来の夢や職業感について考える機会を持ち、自分にふさわしい職業や仕事への関心、意欲を高めるきっかけづくりができた。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘のあった「幅広い分野の職場体験先の確保に努められたい。」について、実施できた。

体験受入事業社数 岩出中学校 83社 岩出第二中学校 71社

体験参加者数 岩出中学校 243名 岩出第二中学校 209名

〔総合評価〕

- ◎ 青少年健全育成の推進（自立と成長の促進）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 幅広い職種の職業体験を実施できるよう、岩出市商工会、JA等と連携するとともに、県商工観光労働部からも「ものづくり企業」への積極的な受け入れを推進してもらい、事業所の確保に取り組んだ。

〔評価委員会の意見〕

- 職業体験の分野拡充・連携深化を図り、更に充実した取組をされたい。
- 生徒のキャリアにとって効果的なものになるよう、体験前後の取組の充実に努められたい。

(10) 国際化の推進（多文化共生の推進）

〔基本方針〕

近年の外国人観光客や外国人住民の増加により、日常生活において市民と外国人が関わる機会の増加が予想されることから、外国青年招致事業を実施し国際交流活動の推進、多文化共生社会を担う人材の育成に努めることで、お互いを認め合い暮らしやすいまちづくりに取り組む。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 小学校のALT⁵が1名、7月末に任期満了により帰国したが8月から新しいALTを採用することで、小学校は2名体制を維持した。計画どおり小・中学校合わせて3名のALTを配置し、各ALTが持つアイデンティティを活用し充実した授業を実施することができた。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘のあった「児童生徒がALTと多くの時間を過ごせる」よう、給食の時間や休憩時間、ALTの空き時間を利用し、英語以外の教科への参加を依頼し、児童生徒が外国人と関わる機会の創出に努めた。

〔総合評価〕

- ◎ 国際化の推進（多文化共生の推進）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 小学校2名、中学校1名、合計3名のALTを配置することで、小中学校でALTを活用した授業を効果的に実施できた。

〔評価委員会の意見〕

- ALT活用の機会・時間の更なる拡充を図り、グローバル社会への備えをより強化する施策の取組をされたい。
- 英語教育については、環境（ALT等）を整えるのみならず、幼児教育から義務教育全般を通じての長期的な計画をもって取り組むのが望ましい。

⁵ 外国語指導助手。Assistant Language Teacher の略

6 点検評価結果【生涯学習課】

(1) 学校環境の充実

〔基本方針〕

学校・家庭・地域が一体となって子供の育ちや学びを支えるため、学校支援、学習支援、校内環境整備など学校支援ボランティアによる取組を推進する。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 学校支援地域ボランティア活動事業については、ボランティアの募集を行うとともに、各小中学校における地域ボランティアによる授業補助や下校指導、農園整備、合同地域清掃などの活動を支援した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- ボランティア登録手続きを年度で区切らない自動更新とし、市の広報紙や市のウェブサイト、学校側からの保護者への声掛け等によりボランティアの確保に努めた。学校間の協力・連携として、各学校ごとに小・中学校合同地域清掃を実施した。その他、学校ごとの取組状況を情報提供することで連携強化を図った。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待以上」、今後の方向性は「継続」とした。
- ◎ 地道に取組を継続することでボランティア登録者数が比較的大きく伸びた。
- 学校支援地域ボランティア活動事業については、市内全ての小・中学校において活動を実施することができた。

〔評価委員会の意見〕

- 地域に頼るばかりではなく、地域にとっても恩恵のある取組を進められたい。
- 今後も安定的な学校支援ボランティア確保と利用環境の改善、交流機会の拡充を図り、引き続き活発な取組を推進されたい。

(2) 青少年健全育成の推進

〔基本方針〕

青少年健全育成に関わる各種団体の活動の充実と各組織との連携強化に努め、家庭・学校・地域及び行政がそれぞれの果たす役割を明確にし、青少年を取り巻く様々な問題について取り組み、子供の育つ環境を守るとともに、地域社会を形成している大人に対しても、青少年の健全育成に対する意識の向上に努める。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 青少年健全育成事業については、青少年の非行・被害防止全国強調月間にあわせた講演会を開催したほか、青少年健全育成に関わる団体の活動を支援し、青少年育成市民会議では、青少年育成市民大会において、少年メッセージの発表や「絆」ポスター、育成会を表彰したほか、市内小学校対抗のスポレクフェスタの開催、街頭啓発、育成だより・育成通信の発行、地域活動連絡協議会では、ドッジボール大会、子ども・リーダー交流会や指導者研修会の開催などに取り組んだ。また、「あいさつ運動」や「子供安全パトロール隊」などの見守り活動を通じて子供たちの安全を守る環境づくりに取り組んだ。そのほか、青少年センターでは、青少年の健全育成と非行防止のため、不良行為の早期発見、早期指導、補導活動、少年相談、立ち直り支援などに取り組んだ。
- はたちのつどい事業については、はたちという人生の節目を迎える方々を励ますとともに、社会人としての自覚と地域への愛着心を育むために開催した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 青少年の健全育成を図るため、新たに文化祭での啓発活動を行うなど、地域ぐるみの見守り活動や啓発活動、イベントの実施などに取り組んだ。

〔総合評価〕

- ◎ 青少年健全育成の推進については、2事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」2事業、今後の方向性は2事業すべて「継続」とした。

- 青少年健全育成事業については、関係団体や地域との協働で見守り活動やイベントを実施できた。
- はたちのつどい事業については、従前の規模で開催し、特に問題もなく無事に式典とイベントを開催することができた。

〔評価委員会の意見〕

- 青少年健全育成事業については、地域や関係機関との連携を深めながら、継続的な実施と事業内容の充実を図られたい。
- 青少年の交流の中心はSNS等に移っており、インターネットによる犯罪・被害防止等の取組の充実にも努められたい。
- はたちのつどい事業については、社会的自覚の促進や地域への愛着心の醸成という目的を明確にし、参加者の意識向上に繋がるプログラムの工夫をされ、継続・発展させることが望まれる。

(3) 文化・芸術活動の推進

〔基本方針〕

文化・芸術活動の振興と普及を図るため、活動団体への支援に努めるとともに、文化・芸術にふれあい、理解と関心を高めるための作品展示や活動発表の機会提供に取り組む。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 文化協会助成事業については、市文化協会に対して助成金を交付した。
文化協会 32クラブ（579名）
- 文化祭事業については、市民総合体育館において開催し、様々な作品展示や文化協会、保育所等による芸能発表を行い、体験コーナーや物販コーナーを実施した。また、新たに学生等の団体による芸能発表や囲碁大会・将棋大会の会場を旧和歌山県議会議事堂に移して実施した。
参加人数 14,365名
- 公民館フェアは、総合保健福祉センターにおいて開催し、ギャラリーは

ふれあいまつり前日と当日の2日間、コンサート等は例年と違いふれあいまつり前日の実施となった。公民館利用団体等が、1階ロビーで作品展示、3階で舞台発表を行ったほか、体験コーナーも実施した。

コンサート部門とギャラリー部門を合わせて3,169人の観覧があった。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 文化祭事業については、若い世代の方にも参加いただけるよう芸能発表では学生等の団体が参加できる枠を設け、作品展示では学生個人で一般作品を出展できるようにした。

〔総合評価〕

- ◎ 文化・芸術活動の推進については、3事業の評価を実施し、総合評価は、「期待以上」1事業、「期待どおり」2事業、今後の方向性は3事業すべて「継続」とした。
- 文化協会助成事業については、文化・芸術活動の振興と普及を図るために必要な事業であり、各クラブが継続して活動し、文化協会全体が活性化するように活動支援に努める。
- 文化祭事業については、学生等の団体による芸能発表やいわで文化作品コンテストの実施、囲碁将棋大会の会場を旧和歌山県議会議事堂に移すなどして、これまで少なかった層の人も参加する機会を提供することができた。
- 公民館フェアについては、コンサート部門がふれあいまつりの前日の実施となったが、体験コーナーを実施するなどして多くの方に来場いただいた。

〔評価委員会の意見〕

- 文化祭事業については、コロナ以降の参加者の減少対策や、若年層の参加を促進して世代を超えた交流や地域文化の継承に繋がる取組をされたい。
- 文化協会助成事業については、所属クラブの活動の活性化に寄与されたい。

(4) 生涯学習の充実

〔基本方針〕

市民一人ひとり生きがいを持って、人生を送ることのできる活力あるまちづくりを進めるため、学習者の主体性を尊重し、「いつでも、どこでも、誰でも学べる」、「共に生き、共に学ぶ」ことができる環境づくりに努める。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 放課後子ども教室推進事業については、地域の方々の参画を得て、学習活動や文化活動、地域住民との交流活動に取り組んだ。新規教室としておやつ作り教室を実施し、地域住民との交流及び体験の幅を広げることができた。

6小学校80教室、参加児童延べ人数 2,381名

- 生涯学習を考えるつどい事業については、文化祭の前夜祭として「タルタタン～オータムコンサート～」を開催。

313名が来場し、出演者が選曲にこだわり、様々な世代が楽しむことができるコンサートとなった。

- 公民館事業（ふれあい・成人・家庭教育）については、60歳以上対象のふれあい学級、18歳以上対象の成人講座、保育所等の保護者対象の家庭教育学級を実施。ニーズを把握し講座内容を充実させるため、参加者や保育所等にアンケートを実施した。

ふれあい学級は、10講座、参加者数は延べ1,799名

成人講座は、10講座、参加者数は延べ804名

家庭教育学級は、市内の保育所等10か所、参加者数は978名

- 公民館教室事業は、日常生活に活かせることや楽しく学び続けることができるものを選んで19種の教室を各地区公民館で開催（参加者数は283名）した。

- 公民館講座事業は、夏期・冬期の子供向け講座を、冬期の一般向け講座、にじいろ講座（障害者対象講座）を実施。

・夏のこども講座

「サマークッキング」を小学4～6年生を対象として3回、「おもしろ工

作教室」を小学1～3年生を対象として3回開催し、参加者数は118名
・冬のこども講座

「クリスマスリースづくり教室」を小学生全学年とその保護者を対象として2回開催し、参加者数は35組、70名

・冬の一般講座

「季節のお菓子と料理教室」を1回開催し、参加者数は21名

・にじいろ講座（障害者対象講座から名称を変更）

書道講座2回、体操講座2回、ヨガ講座1回、マルさんかくアート講座1回、己書（筆ペンアート）講座を1回開催し、参加者数は84名

- 地区公民館運営事業については、上岩出地区公民館において外壁等改修工事、紀泉台地区公民館において屋上防水等工事、各地区公民館において非常用照明修繕工事を行うとともに、各地区公民館において必要な修繕を行い、施設設備の充実と機能の維持を図った。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 放課後子ども教室については、おやつ作り教室を新規教室として実施することで、子供の居場所の充実及び、参加しやすい環境づくりに努めた。
- 講座や教室などの実施にあたっては、アンケートを実施するなど学習ニーズの把握に努め、定員数の見直しや、新しい講座を取り入れるなど内容の充実を図った。

〔総合評価〕

- ◎ 生涯学習の充実については、6事業の評価を実施し、総合評価は、「期待どおり」6事業で、今後の方向性は6事業すべて「継続」とした。
- 放課後子ども教室推進事業については、当初の計画どおり市内の全ての小学校で実施することができ、参加者数も目標を上回ることができた。
- 生涯学習を考えるつどい事業については、より豊かに充実した生活を送るための生涯学習機会を提供するために必要な事業であり、今後も実施する。
- 公民館事業（ふれあい・成人・家庭教育）・公民館教室事業・公民館講座

事業については、世代やニーズに応じた学習の機会とふれあいの場を提供することができた。

- 地区公民館運営事業については、改修工事や修繕を行うことで施設の安全性と快適性の確保を図ることができた。

〔評価委員会の意見〕

- 放課後子ども教室推進事業については、引き続き児童の安全・安心な居場所提供を最優先にし、教室内容の充実を図られたい。
- 生涯学習を考えるつどい事業については、市民が生涯学習について考え、交流する場として開催され、文化や芸術、地域教育の理解促進に寄与している。更なる参加者増加を目指し、広報活動の充実を図られたい。
- 公民館事業は生涯学習の重要な柱であり、今後も多様な市民ニーズの把握と柔軟な対応を通じて、地域に根差した文化、学びの拠点として更なる充実を図られたい。
- 公民館教室事業、公民館講座事業については、幅広い年齢層の市民のニーズを汲み、教室や講座の内容充実を図られたい。
- 地区公民館運営事業については、施設の長寿命化と安全対策を継続し、施設の機能強化を更に推進されたい。

(5) 生涯スポーツの推進

〔基本方針〕

市民一人ひとりがライフステージに応じた生涯スポーツ社会の実現に向け、スポーツを通じての体力づくり・健康づくりに親しむことができる環境づくりに努める。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 市民運動会事業については、いきいき広場オープンによりパークゴルフ体験会や「はたらくるまコーナー」として交通安全フェアとコラボし、大宮緑地総合運動公園においてスポーツの秋に開催した。

来場者数 8, 042名

総合スポーツ大会は、市民の健康、体力の増進、競技力の向上等を目的に各体育協会の主導により9月～12月の間に開催した。

・実施競技団体 10団体

グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー、テニス、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ

- 市マラソン大会事業については、生涯スポーツの普及と振興を図り、健康・体力づくりを促進するとともに、観光拠点である「ねごろ歴史の丘」を舞台に岩出市の魅力を広くPRし、マラソン大会を開催した。

また、一般10kmから15kmに復活させ、近畿大学キャンパス内を走行し、会場内では、キッチンカーを出店し、来場者への飲食提供を通じてイベントを盛り上げた。

参加者数 1, 448名、コスプレ14組

- スポーツ教室事業については、3歳の子供とその親対象の親子体操教室、20歳以上対象のヨガ教室・エアロビクス教室・ヘルスアップ教室、概ね50歳以上対象のウォーキング教室を実施した。

親子体操教室は、78名の参加

ヨガ教室は、41名の参加

エアロビクス教室は、39名の参加

ヘルスアップ教室は、32名の参加

ウォーキング教室は、18名の参加

また、スポーツ推進委員会や市民プールの指定管理者との連携により、ニュースポーツ教室の開催を実施した。

- スポーツ少年団助成事業及び体育協会助成事業については、スポーツ少年団と体育協会に対して助成金を交付した。また、スポーツ少年団の団員確保に向けて、昨年に引き続き「一日体験会」を実施した。

スポーツ少年団 17団

体育協会 19協会（46団体）

- 大会等選手派遣補助事業については、スポーツ少年団や体育協会に所属す

るチームや個人の大会出場に要する経費の一部を補助した。

全国大会 16 件、近畿大会 7 件、県大会 5 件の計 28 件

- スポーツ施設運営事業及びスポーツ施設整備事業については、総合体育館においてフリー開放を実施するとともに、体育施設の定期的な点検と必要な整備を行った。
- 紀の川左岸高齢者等スポーツ広場については、8月24日（土）にオープニング式典及びパークゴルフ・モルック体験会を開催した。また、愛称を募集して「いきいき広場」に決定した。

8月24日から3月31日まで 来場者数 延べ3, 207人

- パリ2024オリンピック スケートボード女子パークのパブリックビューイングについては、オリンピック連覇がかかる、岩出市出身の四十住さくら選手の応援を、8月6日（火）に旧和歌山県議会議事堂（一乗閣）で開催した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 市民運動会事業において、いきいき広場オープンによりパークゴルフ体験会や「はたらくるまコーナー」として交通安全フェアとコラボして開催した。
- 市マラソン大会事業については、一般10kmから15kmに復活させ、近畿大学キャンパス内を走行し、会場内では、キッチンカーを出店し、来場者への飲食提供を通じてイベントを盛り上げた。
- スポーツ施設整備事業については、岩出市立体育館の照明設備を t o t o（スポーツ振興くじ）助成金を活用し、LED照明へ改修を実施した。明るさの向上や省エネ効果が期待され、利用者がより安心して快適に使用できる環境整備を図れた。

〔総合評価〕

- ◎ 生涯スポーツの推進については、8事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」3事業、「やや下回る」5事業、今後の方向性は8事業すべて「継続」とした。

- 市民運動会事業については、市民へのスポーツ振興とレクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係をはぐくむとともに、明朗・活発な人間育成に資するために必要な事業であり、今後も実施する。
- 市マラソン大会事業については、市民の健康・体力づくりの促進と本市の交流拠点となる根来を広く周知することができた。
- スポーツ教室事業については、市民の健康・体力づくりとふれあいの場を提供することができた。今後も、地域スポーツ活動の活性化を図るため、市民のニーズに応えられるようなニュースポーツの実施に取り組む。
- スポーツ少年団助成事業、体育協会助成事業及び大会等選手派遣補助事業については、スポーツ関係団体の育成と強化を図ることができた。
- スポーツ施設運営事業及びスポーツ施設整備事業については、定期点検と必要な工事や修繕を行うことで、体育施設の安全性と快適性の確保に努めることができた。

〔評価委員会の意見〕

- 市民運動会事業、総合スポーツ大会、市マラソン大会事業及びスポーツ教室事業については、引き続き市民のニーズの把握に努めるとともに、より多くの方に参加してもらえる内容となるよう工夫されたい。また、SNS等のデジタル媒体を活用し、参加の呼びかけや事業情報の発信を行うことで、参加率の向上を図られたい。
- スポーツ少年団助成事業、体育協会助成事業、大会等選手派遣補助事業については、生涯スポーツの振興と市民の健康づくりにおいて重要であり、今後も計画的な支援と柔軟な運営により、より良い成果を目指されたい。
- スポーツ施設運営事業については、施設の安全を強化し、快適に利用できるよう整備を行うとともに、施設の質向上に重点を置いた改修や更新を実施し、利用者の満足度を高め、利用者数の増加につなげられたい。
また、スポーツ施設整備事業については、計画的な整備更新を進められたい。

(6) 人権尊重の推進

〔基本方針〕

児童生徒への人権教育や家庭・学校・地域など幅広く市民の意識醸成につながる効果的な取組に努める。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 人権教育啓発事業については、講演会の開催や小・中学生の人権作文集の発行、人権ポスターの展示などを実施した。また、県補助金を活用した保護者学級を6小学校で開催した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 人権講演会では、女性会議と共催し、ソプラノ歌手の講師を招き、女性の人権問題について講演いただいた。昨年と違ったテーマで実施することで、市民に人権問題に対する正しい認識を広めた。
- 保護者学級については、岩出市内の全ての小学校で実施することができた。

〔総合評価〕

- ◎ 人権教育尊重の推進については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 人権教育啓発事業については、人権尊重の推進のために必要な事業であり、今後も講演会の開催や啓発活動等に取り組み、人権意識の高揚を図る。

〔評価委員会の意見〕

- 市民への情報発信を強化し、より多様な市民が主体的に参加できる人権啓発を目指されたい。
- 今後も人権の啓発に努めるとともに、近年増加しているSNS等の人権問題等にも取り組まれたい。

(7) 文化遺産の保護・活用

〔基本方針〕

根来寺境内に所在する文化遺産について、関係機関との連携を図りながら、保全・活用に取り組むとともに、地域の文化遺産についても保護・活用を図り、文化遺産の調査等で得られた資料を適切に保存整理し、公開できるよう努める。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 国史跡根来寺境内周辺保全管理事業については、根来寺本坊新築工事に伴う必要な措置等について、現地指導を実施するとともに、関係機関との協議や委員の指導助言を得ることができた。
- 文化遺産保存活用事業については、市内の指定文化財の維持、管理、修理等に要する経費への補助を行い、保存・活用を図るとともに、市が管理者並びに管理責任者となっている指定文化財の保護・保全を図るため、整備等に係る事業を実施した。

文化財保護審議会では、文化財の保存及び活用に関する事項について審議を行った。

文化財の保護を推進していくため、文化財保存活用地域計画の策定に向けた準備を行った。

この他、埋蔵文化財の公開・活用、文化遺産の普及啓発、講師等の派遣等の事業を実施することにより、文化財の普及啓発に努めた。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 栄福寺（湯窪）と正覚寺（高塚）が所有・管理する県指定文化財（天然記念物）の環境整備を所有者との協議のもと実施することができた。

令和5年年度から実施している絹本著色鳥羽天皇像けんぼんちゃくしよくとばてんのうぞうの保存修理事業については、令和6年度において修理事業を完了することができた。このほか、荒田神社の自動火災報知設備等交換については、文化財所有者と連携して修理を行い、文化財の適切な保存管理を行うことができた。

日本遺産公開講座を葛城修験でつながる4市町（紀の川市・かつらぎ町、橋本市、岩出市）の合同開催は2回目となり、紀の川市で実施した。

また、民俗資料館や岩出図書館などと連携し、パネル展示や学習会などを実施した。

この他、小学校への出前授業を実施し、ふるさとの歴史学習を実施し文化遺産の普及・啓発に取り組んだ。

〔総合評価〕

- ◎ 文化遺産の保護・活用については、2事業の評価を実施し、総合評価は、「期待どおり」が2事業、今後の方向性は2事業「継続」とした。
- 国史跡根来寺境内周辺保全管理事業については、根来寺境内とその周辺の適切な保全を図ることができた。今後も史跡根来寺境内周辺保全管理委員の指導助言を参考に保全に努める。
- 文化遺産保存活用事業については、市内に所在する指定文化財の保護が図れた。文化遺産の積極的な保護と活用を推進するため、文化財保存活用地域計画の策定に向けて取り組んでいく。

〔評価委員会の意見〕

- 近代以降の文化財や先人の発掘にも取り組まれない。
- 火災・災害対策（自動火災報知設備の整備・点検など）の定期的な見直しや、劣化対策を計画的に進められたい。
- 「ふるさと岩出」への誇り醸成や観光振興に直結する事業である。今後も持続的で魅力ある取組をされたい。
- 適切な保存技術や管理のため、文化庁や県の補助・助言制度を活用されたい。

（８）歴史・伝統文化の振興

〔基本方針〕

本市の伝統文化である「根来の子守唄」を後世に伝えるため、保存・継承活動を支援するとともに、伝統文化の価値や魅力を発信する取組を行う。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 根来の子守唄等保存活用事業については、令和6年3月29日に岩出市文化資源・観光資源に認定された「根来の子守唄」の保存団体である根来の子守唄保存会の活動を支援するため助成金を交付し、官民連携して根来の子守唄の普及啓発に努めた。
- 根来の子守唄の歴史的価値等の評価について、有識者4名に依頼を行い、新たな歴史的な価値を認識することができた。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 連携事業としては、9月14日に開催した「子守唄 唄いつなごう 根来から」を旧和歌山県議会議事堂で開催した。
- 根来のふるさと学習として、「うたわんかい おどらんかえ こもりうた！」を11月7日、根来小学校の1年生を対象に授業を行った。
- ふるさと感動物語「近代のいわで その魅力に迫る！」を2月22日、旧和歌山県議会議事堂で開催した。オープニングのイベントとして、小中学生で構成したユニット「根来の子守唄つくし」による根来の子守唄を披露した。

〔総合評価〕

- ◎ 歴史・伝統文化の振興については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 小中学生によるユニット「根来の子守唄つくし」を立ち上げるなど、地域の方々と協働し、ふるさとの文化を発信することができた。

〔評価委員会の意見〕

- 文化資源である根来の子守唄を地域の誇り・賑わいにもつなげる事業展開をされたい。
- 「根来の子守唄」以外の文化財の発掘にも取り組まれたい。

6 点検評価結果【岩出図書館】

(1) 図書館事業の充実（図書館運営事業）

〔基本方針〕

市民の図書館に対する理解や関心を深め、図書館利用の促進を図るため、図書紹介、行事案内やサービス内容など様々な情報を発信するとともにイベント、講演会を開催する。

イベント開催、日常の図書館運営には、図書館ボランティアの協力が必要であり、ボランティア活動の活性化を図るため様々な支援を行う。

また、岩出図書館資料収集基準に基づき、公共図書館の役割、利用者各層の要求及び社会の動向を十分配慮して、広く市民の文化、教養、調査、研究、趣味、娯楽等に資するため、図書等を幅広く収集し、地域密着型図書館として、市民の身近にあって、「いつでも、どこでも、誰にでも」図書館サービスが受けられるよう努める。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 図書館利用促進事業については、子供向け体験教室4回、映画会15回、講座・講演会8回、その他イベントを14回実施した。

- ・令和6年度実績（前年比）

- 入館者数 155,172名（12,584名増）

- 貸出冊数 348,270点（4,026点減）

- 貸出者数 102,666名（2,903名増）

- 登録者数 40,227名（1,198名増）

- 図書館ボランティア活動支援事業については、岩出図書館ボランティアは令和6年度末で82名の登録となった。図書館ボランティア養成講座として、「読み聞かせボランティア養成講座」を2回開催した。

また、高校生ボランティアの受入については4校29名、大学生等ボランティアを3校4名受入した。

- 図書等購入事業については、ほぼ計画通り資料を購入できた。できるだけ利用者の要望に応えながら、資料の充実を図った。

図書購入実績

・一般図書	5, 7 9 4 冊
・児童図書	3, 3 2 6 冊
・参考図書	1 9 9 冊
計	9, 3 1 9 冊

視聴覚資料購入実績

・DVD	7 0 点
・CD	5 0 点
計	1 2 0 点

電子書籍 2 3 0 ライセンス (2 3 0 コンテンツ)

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 「自習席の設置」や「おはなし室開放」の定着のほか、参加型のイベントを多数実施した。大学生ボランティア作成のフォトスポットや福笑いの設置、図書館まつりでは「つながるマルシェ」と称して福祉事業所による物品展示販売を行った。誰もが気軽に立ち寄れる居心地のよい空間づくりに努めた。
また、令和6年度は、JICA関西（国際協力機構関西センター）やつかさ食堂（県内の高校・大学図書館司書有志メンバーによるフリーペーパー）を作成するメンバーと連携し図書展示を行い、好評を得た。

〔総合評価〕

- ◎ 図書館運営事業については、3事業の評価を実施し、総合評価は3事業とも「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 図書館利用促進事業について、全館でみると入館者数は増加したものの、貸出冊数及び貸出人数は伸び悩んだ。令和6年度においては、参加型のイベントを多数実施し入館者数は増加したが、貸出冊数にはつながっていない。イベント開催により読書活動の推進及び図書館の利用促進につながるよう更に創意工夫する。
- 図書館ボランティアについては、広報いわでに特集記事を掲載したことや読み聞かせボランティア養成講座を開催したことから登録者数は微増となった。大学生等ボランティアについて登録者はあるが、継続した活動に繋がりがづらい。
- 令和6年度末で、岩出図書館（分館・分室、電子書籍含む）の蔵書冊数は378, 764冊となった。

〔評価委員会の意見〕

- 図書館事業の充実（図書館運営事業）について、図書館を市民にとってより身近で親しみやすい存在とするため、他館の先進的な取組を参考にしながら、多様な行事の開催に取り組むことが望まれる。また、電子書籍サービスなどのデジタル活用を推進し、非来館型利用者の獲得を図るとともに、図書館ボランティアの確保を通じて市民との協働体制を一層強化されたい。さらに、読書活動の裾野を広げることで、地域文化の継承と発展につなげる取組が期待される。

（２）図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）

〔基本方針〕

学校・家庭・地域がそれぞれの機能を発揮し、子供が自主的に読書活動を行えるよう、学校や図書館などの関係機関、民間団体等と緊密に連携し、相互に協力しながら、子供の発達段階に応じた読書活動を積極的に推進する。また、図書館及び学校図書館の図書資料や施設・設備を充実し、子供の身近なところに読書のできる環境を整備するとともに、読書の意義や重要性について、市民の理解と関心を深める。

〔令和６年度の主な取組状況〕

- 子供の読書活動に関する様々なイベントや展示の実施、学校等の図書館見学・出前授業、学校へのブックリストや図書館イベント案内等の配付を行った。

図書館司書派遣事業では、市内小中学校に予定通り各３７日学校司書を派遣できた。児童生徒への読み聞かせ、ブックトーク^６、アニメーション^７や授業で使用する図書の収集、調べ学習のサポート、ビブリオバトルに関する指導など、読書支援・学習支援を行った。

家族ふれあい読書推進事業では、うちどく^８の啓発のため「うちどくの記

^６ あるテーマに沿って何冊かの本を順に紹介し、子供たちに紹介した本や読書への興味を持たせる方法・技術

^７ 子供たちに楽しみながら「読む力」を体得させる活動

^８ うちどく＝家での読書

録」の展示を実施した。また、読み聞かせ等家庭での読書習慣の大切さや興味をもってもらえるような図書館サービスを紹介し、小学校の就学時健診の際に、図書館職員が各小学校に出向き、保護者への啓発を直接行った。

親子読書支援事業では、1歳8か月児健康診査対象者に図書館への案内状を配付し、来館者には親子での読書（読み聞かせ）を支援するトートバックに入れた絵本のプレゼント、ブックリストの配付を行った。また、読書相談に応じるとともに、図書館利用カード作成やおはなし会等の案内を行った。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 令和6年度においては、新規事業で夜のおはなし会や教育支援センターに出向いたおはなし会等の活動を行った。夏休みには、読書ラリーの一環として絵本「スイミー」を模した壁面飾りを作り、読書推進に取り組んだ。文化の日にちなんだ事業として、図書館講座「百人一首を楽しもう！」を実施し、参加体験型の事業を開催した。さらなる読書活動の推進に努める。

〔総合評価〕

- ◎ 子供読書活動推進事業については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 学校の図書館見学・出前授業については、令和6年度も全ての小学校に対して図書館見学の受入もしくは出前授業を実施することができた。

教職員への図書提供冊数も前年度と比べると増加している。今後も、第4次岩出市子供読書活動推進計画に基づき、教育総務課、学校、子ども家庭課、保育所、子育て支援センター、図書館ボランティア等と連携協力し、子供読書活動の推進に努める。
- 岩出図書館に来館し、図書等の貸出をする中高生（自習席利用を除く）が少ない。今後は、中高生向けに電子図書館の周知ほか、忙しい中高生であっても図書館を利用してもらえるような事業を実施する等創意工夫に努める。

〔評価委員会の意見〕

- 図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）について、家庭・地域・学校の連携を通じて保護者への啓発を図り、参加型イベントや多様な読書企画の充実により、子供の主体的な読書活動を促進されたい。また、今後はデジタル事業の可能性についても積極的に研究を進められたい。

6 点検評価結果【民俗資料館】

(1) 歴史・伝統文化の振興

〔基本方針〕

歴史・文化などの地域情報の提供を行うため、施設整備や資料収集に取り組み展覧事業等の充実を図り、歴史・伝統文化の振興に努める。

講演会や歴史講座、歴史学習会を開催することで、郷土の歴史や成り立ちについて学べる郷土学習の支援に努める。

〔令和6年度の主な取組状況〕

- 民俗資料館展覧事業では、収集資料品展、根来寺関連宝物展、秋季企画展を開催した。

収集資料品展では民俗資料館資料収集事業で購入した根来漆器を常設展示するもので、9月と3月に展示品の入替を行い、根来塗について理解を深めた。

根来寺関連宝物展では近世根来寺の復興のあゆみ－紀伊徳川家と根来寺学頭－」をテーマに、紀伊徳川家が紀伊に入国した1619年から根来寺大門が完成した1852年までの根来寺の復興を支援した紀伊徳川家の頼宣・重倫と根来寺内部で復興を主導した学頭たちの生涯や業績を中心に紹介し歴史と文化について理解を深めた。

秋季企画展では「江戸時代の岩出－紀伊藩との関係を中心に－」をテーマに、岩出は紀伊藩が参勤交代のために使用した伊勢街道や根来寺・加太の淡島神社などへの参詣道の淡島街道が通っていました。

紀伊藩との関係の中で江戸時代の岩出のあゆみが展開しました。今回は江戸時代の岩出の歴史を紀伊藩（特に紀伊徳川氏）との関係を中心に紹介し理解を深めた。

事業名	目標人数	実績人数
収集資料品展入館者数	43,000名	42,862名
根来寺関連宝物展入館者数	8,000名	6,814名
根来寺関連宝物展講演会参加者数	80名	26名
秋季企画展入館者数	10,900名	11,134名
秋季企画展講演会参加者数	80名	39名

- 民俗資料館歴史学習・講座事業は、歴史講座、ふるさと歴史学習会、子ども歴史学習会を実施した。

まず、歴史講座は「岩橋千塚古墳群について」、「雑賀衆と根来衆」、「紀州藩の御殿」をテーマに3回開催し、郷土岩出の歴史について理解を深めた。

次にふるさと歴史学習会では、地域のすばらしさに気づき、ふるさとに愛着と誇りを持ってもらうため、今回は修験の聖地・根来寺－修行の道を歩く－と題し根来寺から根来山げんきの森の管理棟まで歩き散策した。

子ども歴史学習会は、夏季に小学4～6年生を対象として「まが玉づくり（1回）」、「はにわづくり（1回）」、「ふうりんづくり（1回）」をテーマに計3回の夏の子ども歴史学習会を開催し、冬季に小学3～6年生を対象として「土器作り体験」をテーマに1回の冬の子ども歴史学習会を開催した。

事業名	開催回数	募集人数	参加者数
歴史講座	第1回	80名	53名
歴史講座	第2回	80名	57名
歴史講座	第3回	80名	57名
ふるさと歴史学習会	第1回	20名	12名
夏の子ども歴史学習会	第1回	48名	47名
夏の子ども歴史学習会	第2回	48名	47名
夏の子ども歴史学習会	第3回	48名	46名
冬の子ども歴史学習会	第1回	24名	20名

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

教育及び観光振興の旗振り役として、市内外に向けて広く情報発信し続けるとともに、老若男女問わず歴史、文化を学習できる多様な講座や展示会を開催し入館者の増につなげるような意見を頂き、根来寺関連宝物展では近世根来寺の歴史と文化について、秋季企画展では江戸時代の岩出をテーマに開催した。

歴史講座の実施にあたっては市民等の参加者の方からの要望が多いテーマにしたものを3回開催した。

〔総合評価〕

- ◎ 歴史・伝統文化の振興については2事業の評価を実施し、総合評価は、「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

- 期間中の入館者数が目標人数を上回った展示もあったが、根来寺関連宝物展では期間中の入館者数が目標人数を下回った。

根来寺関連宝物展講演会・秋季企画展講演会は参加者数が少なく展示テーマの設定に課題があったと考えられる。

- 今後の取組として、展観事業や歴史講座は要望の多い根来寺関連や郷土岩出の歴史等の中で特に関心や注目度の高いテーマのものを実施していく。

ふるさと歴史学習会では、定員の半分程度の参加者にとどまったため、多くの方に参加いただくためにニーズに合ったテーマを設定して内容の充実を図るとともに、実施時期や実施場所についても見直す必要がある。

〔評価委員の意見〕

- 展観事業については、根来寺の宗教的な分野も必要であるが、市民や観光客を魅了するような展示会の内容も検討しアンケート調査等を実施し、より参加者の意見を反映した企画展示や講演会を開催することで、利用者の満足度を高める工夫をされたい。

- 歴史学習・講座事業については、SNSや広報紙、チラシ等で講座等の周知を強化し、若年層や子育て世代など各世代の参加促進を進め、講義形式だけでなく市民等の参加体験の学習会の充実も図られたい。

また、近代以降の文化財や先人の活躍等についても取り組まれない。

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課	
事業名	小学校施設改修事業				
事業の目的	小学校の施設老朽化等に伴う補修工事を施工し、施設の安全確保及び耐用年数延長を図る。				
事業概要	児童の安全確保及び教育環境の整備・充実を図るため、校舎等の改修を行う。				
目標 (評価指標)	なし	理由	それぞれの学校に応じた緊急性の高い修繕を優先し対応しているため。		
達成状況	○工事内訳				
	(現年度) 工 事 名			金 額	
	山崎北小学校公共下水道接続工事			14,972,100円	
	根来小学校普通教室床張替工事			3,850,000円	
	各小学校防犯カメラ設置工事			26,752,000円	
	上岩出小学校トイレ配管改修工事			1,925,000円	
	中央小学校プールろ過装置ろ材入替工事 ほか6件			4,310,496円	
	現年度計			51,809,596円	
	(繰越明許) 工 事 名			金 額	
	根来小学校トイレ改修工事			58,333,000円	
	根来小学校運動場・新運動場防球ネット修繕工事			1,540,000円	
	繰越明許計			59,873,000円	
	予算執行	当初予算額	130,474,000円	決算額	111,682,596円
補正等		△8,909,000円			
予算額		121,565,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	岩出市立学校施設長寿命化計画に基づき、年次計画的に公共下水道接続工事とトイレ改修工事業を進めるとともに、今後も、老朽化対策及び維持管理の徹底を図り、教育環境の整備や児童の安全確保に努める。 2027年末の一般照明用蛍光灯の製造・輸出入の廃止に合わせた各学校の蛍光灯をLED照明器具に交換を進める必要がある。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課	
事業名	中学校施設改修事業				
事業の目的	中学校の施設老朽化等に伴う補修工事を施工し、施設の安全確保及び耐用年数延長を図る。				
事業概要	生徒の安全確保及び教育環境の整備・充実を図るため、校舎等の改修を行う。				
目標 (評価指標)	なし	理由	それぞれの学校に応じた緊急性の高い修繕を優先し対応しているため。		
達成状況	○工事内訳（現年度）				
	工 事 名			金 額	
	岩出第二中学校美術室床改修等工事			3,223,000円	
	岩出中学校高圧ケーブル取替工事			2,530,000円	
	岩出第二中学校放送設備改修工事			2,637,800円	
	岩出第二中学校運動場防球ネット修繕工事 ほか1件			2,266,000円	
	現年度計			10,656,800円	
	(繰越明許)				
	工 事 名			金 額	
	岩出中学校トイレ改修工事			94,649,500円	
予算執行	当初予算額	129,515,000円	決算額	105,306,300円	
	補正等				
	予算額	129,515,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	岩出市立学校施設長寿命化計画に基づき、年次計画的にトイレ改修工事事業を進めるとともに、今後も、老朽化対策及び維持管理の徹底を図り、教育環境の整備や生徒の安全確保に努める。 2027年末の一般照明用蛍光灯の製造・輸出入の廃止に合わせた各学校の蛍光灯をLED照明器具に交換を進める必要がある。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課	
事業名	通学路整備事業				
事業の目的	通学路の整備により、児童生徒の登下校時の安全を図る。				
事業概要	各学校より、危険個所の報告を受け、道路管理者、岩出警察署及び各関係機関と連携を図り、通学路の危険個所を改修し、児童生徒の安全を確保する。				
目標 (評価指標)	なし	理由	毎年調査し、通学路危険個所の改修をしているため。		
達成状況	○通学路点検実施 7/9 全小中学校校区内 (合同点検 岩出警察署・振興局建設部・土木課) ○整備実績 計 5,995,728円 ・岡田地区通学路整備工事 1,705,000円 ・岩出市内通学路整備工事 2,764,444円 ・岩出市内通学路整備工事 564,389円 ・岩出市内通学路整備工事（道路維持） 527,315円 ・岩出市内通学路整備工事（カーブミラー等設置） 434,580円				
予算執行	当初予算額	6,000,000円	決算額	5,995,728円	
	補正等				
	予算額	6,000,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	通学路の整備工事施工により、児童生徒の通学路の安全確保を図ることができた。 整備後の通学路の維持管理及び児童生徒の通学路の安全性の確保に向け、公だけで実施することには予算的にも限界があり、日常の維持管理や見守りなど保護者及び地域住民の参画を促す必要がある。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち																	
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備																	
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課																
事業名	教材・教具整備事業																			
事業の目的	教材・教具を整備し学習に活用することで、児童生徒の学習意欲の向上、教職員の指導の効率化を図る。																			
事業概要	各学校で希望する教材・教具を選定し、その内容を教育委員会が精査し、優先順位を付けたリストに基づき効果的な整備を行う。																			
目標 (評価指標)	なし	理由	教材整備指針に基づき必要な教材・教具を整備・更新しているため。																	
達成状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教材備品</th> <th>理科備品</th> <th>図書購入費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>5,689,585円</td> <td>262,900円</td> <td>3,435,502円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>877,389円</td> <td>630,960円</td> <td>2,191,748円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,566,974円</td> <td>893,860円</td> <td>5,627,250円</td> </tr> </tbody> </table>					教材備品	理科備品	図書購入費	小学校	5,689,585円	262,900円	3,435,502円	中学校	877,389円	630,960円	2,191,748円	計	6,566,974円	893,860円	5,627,250円
		教材備品	理科備品	図書購入費																
	小学校	5,689,585円	262,900円	3,435,502円																
	中学校	877,389円	630,960円	2,191,748円																
	計	6,566,974円	893,860円	5,627,250円																
図書蔵書数（3/31現在）																				
小学校	94,330冊	標準冊数	65,360冊																	
中学校	50,672冊	標準冊数	32,640冊																	
予算執行	当初予算額	15,022,000円	決算額	13,088,084円																
	補正等	△1,230,000円																		
	予算額	13,792,000円																		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																		
事業課題等	小中学校とも教材・教具の充実・更新を図ることができ、児童生徒の学習意欲向上及び教職員の指導効率化に寄与した。 今後も、学習指導要領の改訂に即した学習に不可欠な教材・教具の整備に向け、学校のニーズを適切に判断し整備を行っていくことが課題である。 また故障に対する対応について、予算に限りがある以上、修繕か買い換えかの適切な判断が必要である。																			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」															

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち																									
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備																									
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課																								
事業名	特別支援教育就学奨励費扶助事業（小中学校）																											
事業の目的	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を国の基準により支給し、特別支援教育の振興を図る。																											
事業概要	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童生徒学用品費、通学用品費に対して扶助費を支給する。																											
目標 （評価指標）	なし	理由	特別支援学級入級児童生徒数は年度により差があり、目標設定は制度の性質上適当でないため。																									
達成状況	認定者数（ ）内は前年実績 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>岩出小学校</td> <td>23名（21名）</td> <td>山崎小学校</td> <td>23名（25名）</td> </tr> <tr> <td>山崎北小学校</td> <td>34名（28名）</td> <td>根来小学校</td> <td>14名（16名）</td> </tr> <tr> <td>上岩出小学校</td> <td>23名（19名）</td> <td>中央小学校</td> <td>16名（21名）</td> </tr> <tr> <td>市外小学校</td> <td>1名（0名）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 小学校合計認定者数 134名（130名） 小学校合計支給額 3,000,330円 （4,559,195円） 認定者数 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>岩出中学校</td> <td>24名（24名）</td> <td>岩出第二中学校</td> <td>17名（8名）</td> </tr> <tr> <td>市外中学校</td> <td>0名（1名）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 中学校合計認定者数 41名（33名） 中学校合計支給額 1,707,950円 （1,792,190円） 扶助費支給額合計 4,708,280円 （6,351,385円）				岩出小学校	23名（21名）	山崎小学校	23名（25名）	山崎北小学校	34名（28名）	根来小学校	14名（16名）	上岩出小学校	23名（19名）	中央小学校	16名（21名）	市外小学校	1名（0名）			岩出中学校	24名（24名）	岩出第二中学校	17名（8名）	市外中学校	0名（1名）		
岩出小学校	23名（21名）	山崎小学校	23名（25名）																									
山崎北小学校	34名（28名）	根来小学校	14名（16名）																									
上岩出小学校	23名（19名）	中央小学校	16名（21名）																									
市外小学校	1名（0名）																											
岩出中学校	24名（24名）	岩出第二中学校	17名（8名）																									
市外中学校	0名（1名）																											
予算執行	当初予算額	9,423,000円		決算額	4,708,280円																							
	補正等	△4,713,000円																										
	予算額	4,710,000円																										
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																										
事業課題等	対象児童生徒の保護者の経済的な負担が軽減されており、本事業の果たす役割は大きい。この事業は国庫補助事業であり、国の要綱に準じて事業を実施するため、要綱の内容を正しく把握し適正に実施することが重要である。																											
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																							

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち																															
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備																															
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課																														
事業名	要保護・準要保護児童生徒扶助事業																																	
事業の目的	経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒に対し、就学の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。																																	
事業概要	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童生徒学用品費、通学用品費に対する扶助費を、年3回（7月、12月、3月）に支給する。																																	
目標（評価指標）	なし	理由	就学援助は経済情勢等の社会的要因で上下し、目標設定は制度の性質上適当でないため。																															
達成状況	（ ）内は前年度実績 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">認定者数</td> <td style="text-align: center;">令和7年度入学前支給者数</td> </tr> <tr> <td>小学校合計認定者数</td> <td style="text-align: center;">307名（376名）</td> <td style="text-align: center;">26名（38名）</td> </tr> <tr> <td>内市外小学校</td> <td style="text-align: center;">1名（2名）</td> <td style="text-align: center;">0名（0名）</td> </tr> <tr> <td>小学校合計支給額</td> <td style="text-align: center;">19,357,210円</td> <td style="text-align: center;">(22,457,560円)</td> </tr> <tr> <td>内入学前支給額</td> <td style="text-align: center;">1,540,620円</td> <td style="text-align: center;">(2,757,060円)</td> </tr> </table> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">認定者数</td> <td style="text-align: center;">令和7年度入学前支給者数</td> </tr> <tr> <td>中学校合計認定者数</td> <td style="text-align: center;">205名（215名）</td> <td style="text-align: center;">46名（58名）</td> </tr> <tr> <td>内市外中学校</td> <td style="text-align: center;">4名（7名）</td> <td style="text-align: center;">0名（0名）</td> </tr> <tr> <td>中学校合計支給額</td> <td style="text-align: center;">19,726,528円</td> <td style="text-align: center;">(19,951,253円)</td> </tr> <tr> <td>内入学前支給額</td> <td style="text-align: center;">2,961,000円</td> <td style="text-align: center;">(3,654,000円)</td> </tr> </table>					認定者数	令和7年度入学前支給者数	小学校合計認定者数	307名（376名）	26名（38名）	内市外小学校	1名（2名）	0名（0名）	小学校合計支給額	19,357,210円	(22,457,560円)	内入学前支給額	1,540,620円	(2,757,060円)		認定者数	令和7年度入学前支給者数	中学校合計認定者数	205名（215名）	46名（58名）	内市外中学校	4名（7名）	0名（0名）	中学校合計支給額	19,726,528円	(19,951,253円)	内入学前支給額	2,961,000円	(3,654,000円)
	認定者数	令和7年度入学前支給者数																																
小学校合計認定者数	307名（376名）	26名（38名）																																
内市外小学校	1名（2名）	0名（0名）																																
小学校合計支給額	19,357,210円	(22,457,560円)																																
内入学前支給額	1,540,620円	(2,757,060円)																																
	認定者数	令和7年度入学前支給者数																																
中学校合計認定者数	205名（215名）	46名（58名）																																
内市外中学校	4名（7名）	0名（0名）																																
中学校合計支給額	19,726,528円	(19,951,253円)																																
内入学前支給額	2,961,000円	(3,654,000円)																																
予算執行	当初予算額	46,403,000円	決算額	39,083,738円																														
	補正等	△7,316,000円																																
	予算額	39,087,000円																																
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																																
事業課題等	要保護・準要保護児童生徒の保護者の経済的な負担が軽減されているため、本事業の果たす役割は大きい。しかしながら要保護の修学旅行費については、国の補助金（1／2）があるが、国の要綱に準じて事業を実施するため、要綱の内容を正しく把握し適正に実施することが重要である。																																	
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																													

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち																																															
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備																																															
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課																																														
事業名	紀の国緑育推進事業																																																	
事業の目的	児童の自然と触れ合う機会を創り、環境学習の効果を高める。																																																	
事業概要	県が実施する紀の国森づくり税を財源とした補助金を活用し、学校教育の一環として森林を利用した体験学習を行う（紀の国緑育推進事業補助金交付要綱及び取扱要領）。																																																	
目標 (評価指標)	小学校実施率	100%	第3次長計（前期）【令和7年度】																																															
達成状況	○ 森林体験（間伐体験・森の恵み体験） 実施場所：日高川町の林地及び日高川ふれあいドーム <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>参加人数</th> <th></th> <th>実施日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩出小学校</td> <td>10/4</td> <td>53名</td> <td>山崎小学校</td> <td>10/10</td> <td>106名</td> </tr> <tr> <td>山崎北小学校</td> <td>9/27</td> <td>113名</td> <td>根来小学校</td> <td>10/11</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>上岩出小学校</td> <td>11/1</td> <td>67名</td> <td>中央小学校</td> <td>10/18</td> <td>64名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>483名</td> </tr> </tbody> </table> ○ 森林学習（木工体験） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th></th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩出小学校</td> <td>1/14 ～ 2/5</td> <td>山崎小学校</td> <td>10/11 ～ 11/15</td> </tr> <tr> <td>山崎北小学校</td> <td>11/7</td> <td>根来小学校</td> <td>11/25 ～ 12/6</td> </tr> <tr> <td>上岩出小学校</td> <td>11/15 ～ 11/29</td> <td>中央小学校</td> <td>11/11 ～ 11/29</td> </tr> </tbody> </table>					実施日	参加人数		実施日	参加人数	岩出小学校	10/4	53名	山崎小学校	10/10	106名	山崎北小学校	9/27	113名	根来小学校	10/11	80名	上岩出小学校	11/1	67名	中央小学校	10/18	64名	計					483名		実施日		実施日	岩出小学校	1/14 ～ 2/5	山崎小学校	10/11 ～ 11/15	山崎北小学校	11/7	根来小学校	11/25 ～ 12/6	上岩出小学校	11/15 ～ 11/29	中央小学校	11/11 ～ 11/29
	実施日	参加人数		実施日	参加人数																																													
岩出小学校	10/4	53名	山崎小学校	10/10	106名																																													
山崎北小学校	9/27	113名	根来小学校	10/11	80名																																													
上岩出小学校	11/1	67名	中央小学校	10/18	64名																																													
計					483名																																													
	実施日		実施日																																															
岩出小学校	1/14 ～ 2/5	山崎小学校	10/11 ～ 11/15																																															
山崎北小学校	11/7	根来小学校	11/25 ～ 12/6																																															
上岩出小学校	11/15 ～ 11/29	中央小学校	11/11 ～ 11/29																																															
予算執行	当初予算額	6,524,000円	決算額	6,112,476円																																														
	補正等																																																	
	予算額	6,524,000円																																																
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																																																
事業課題等	環境教育としての役割を果たすべく、今後も、充実した体験・事後学習を行い、子供たちの自然愛護、環境保護等に関する学習を深めていく。																																																	
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																																													

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育相談の充実		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課	
事業名	教育支援センター（通称：フレンド）事業				
事業の目的	心理的要因等により学校生活になじめず登校できない児童生徒（不登校児童生徒）の学校生活への復帰や社会的自立を目指す。				
事業概要	指導員を置き、毎週月曜日から金曜日（国民の祝日等は除く）に、登校できない児童生徒に対する教育相談、学校生活への復帰や自立を図るために指導及び援助、学校等関係機関との連携を図る。				
目標 （評価指標）	なし	理由	児童生徒の状況に応じて、適宜実施しているため。		
達成状況	【通級状況】（ ）内は前年度実績 入室児童生徒数：小学生 6名（10名）、中学生 23名（10名） 体験入室者：小学生 3名（4名）、中学生 3名（9名） 入室者出席延べ日数：小学生 467日（341日）、中学生 1,258日（975日） 体験入室者出席延べ日数：小学生4日（4日）、中学生14日（33日） 【相談状況】 来所相談：4件（0件） 電話相談：0件（4件） 学校との連携：学校への訪問 17件（146件）、学校からの訪問 161件（137件） 学校との連絡：学校への電話 146件（168件）、学校からの電話 167件（151件） 家庭との連絡：家庭への電話 0件（12件）、家庭からの電話 15件（31件） 【指導者等】 指導員 2名 指導補助員 2名 不登校支援員 3名 スクールカウンセラー 1名				
予算執行	当初予算額	7,571,000円	決算額	7,625,122円	
	補正等	462,000円			
	予算額	8,033,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	10月1日から、給食の提供を開始し、給食を目当てに通室してくる児童生徒も現れ、不登校状態にある児童生徒が家から出るきっかけの一端を担うことができた。 入室者の中には、フレンドにもほとんど出席できない児童生徒がいるため、引き続き通室しやすい環境づくりや在籍校と連携する等取り組み、出席できるよう働きかけていく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 家庭・地域との連携		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課	
事業名	コミュニティスクール事業				
事業の目的	学校の運営及び必要な支援に関し、対象学校の所在する地域の住民、対象学校に在籍する児童生徒の保護者等の理解を深め、住民参画の促進を図る。				
事業概要	岩出市内各学校に学校運営協議会を設置し、学校や地域が抱える様々な課題を解決するため、学校と保護者や地域住民が連携した取組を行い、地域とともにある学校づくりを行う。				
目標 (評価指標)	なし	理由	学校の教育目標に沿った学校運営協議会の取組に対し、研修の実施や調整役としての関わりを目標としているため。		
達成状況	・学校運営協議会委員を任命 岩出小学校12名、山崎小学校10名、山崎北小学校14名 根来小学校12名、上岩出小学校14名、中央小学校13名 岩出中学校12名、岩出第二中学校11名　計98名（R5年度98名） ※学校運営協議会は各校年間平均3.1回実施した。 ・各学校における「学校運営協議会」の今後の広がりを見据えて、コミュニティスクール研修会を実施し、地域連携担当者の資質向上を図ることに努めた。各校の課題解決を図れるよう協議会の持ち方について学び、運営方法の見直しをする機会を設けることができた。 ・各校の協議会へ、オブザーバーとして行政担当者を派遣。情報共有を図った。				
予算執行	当初予算額	880,000円	決算額	492,008円	
	補正等				
	予算額	880,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	生涯学習課所管の「学校支援地域ボランティア活動事業」とともに本市指導主事がかかわり、指導助言することで、活性化を図っていききたい。また、小中8校の取組状況がバランスよく行われるよう情報提供も定期的に行っていく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 豊かな学びと学力向上		【重点施策】 学力の向上		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課	
事業名	教育情報化推進事業				
事業の目的	基本的な学習スタンスを大事にしつつ、ICT等の最先端技術を活用した授業改善を図り、新たな学びを創造し、子供たちの確かな学力と生きる力を育む。				
事業概要	岩出市教育情報化推進本部を設置し、指導主事、校長等学校関係者、情報システム関係担当者等が、教育の情報化における課題や必要となる環境を検討する。				
目標 (評価指標)	協働学習の際にICTを効果的に活用できる教員の割合	90%以上	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	ロイロノート活用の普及・促進のために「初級」、「中級（2回）」、「上級」のレベル別の研修を実施。「上級」研修では、新たに15人がロイロ認定ティーチャーに認定され、市内すべての学校に2人以上認定ティーチャーが配置されている状況となった。また、ロイロ認定ティーチャーの上位資格であるロイロトレーナーにも3人が認定された。 教育情報化推進本部会議2回、教育情報化推進委員会を3回実施し、令和5年3月に策定した「岩出市教育情報化推進計画第2期（R5～R9）」の着実な実施と1人1台端末更新準備に務めた。 「協働学習の際にICTを効果的に活用できる教員の割合」82.1%（68.2%）GIGA端末の予備機減に対しては、18台を修理対応した。				
予算執行	当初予算額	6,649,000円	決算額	4,171,200円	
	補正等	△2,093,000円			
	予算額	4,556,000円			
評価	C	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	・協働学習の際にICTを効果的に活用できる教員の割合の伸び悩み ・端末の日常的な持ち帰りの促進 ・端末を日常的に協働学習に活用するための教員の意識変革 ・令和7年度のGIGA端末更新（県共同調達）に伴う教職員研修 ・Chromebook導入後のネットワーク負荷				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 豊かな学びと学力向上		【重点施策】 学力の向上	
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課
事業名	学力向上実践研究事業			
事業の目的	学力向上先進校（地域）における研修や勤務校での実践研究を行い、指導力向上に向けた専門性とリーダー性を備えた教員（中核教員）の養成と効果的な指導方法を活用した授業実践を普及させ、児童生徒の学力向上を図る。			
事業概要	全国学調、市学調（小3～中3）で市平均と全国平均の差を±0に向けた取組 （1）教職員の指導力・資質向上（先進校派遣） （2）学力向上に係る研究発表会等に教員を派遣（研究発表会派遣） （3）派遣教員の活用による学力向上の推進 （4）RST（リーディングスキルテスト）を活用した授業改善（教員） ※RSTとは、文章に書かれている意味を正確にとらえる力（基礎的な読む力・読解力）を測定・診断するテスト。別名：読解力テスト			
目標（評価指標）	なし	理由	教職員の指導力・資質向上及び児童生徒の教育内容の充実を目指すため、数値による評価はできないため。	
達成状況	○学力調査の結果 全国学調と市学調（小3～中3）で市平均と全国平均の差が全国平均を上回った学年数は、7学年中2学年となった。 ○取組状況 1. 先進校視察 ①奈良大学付属小学校に赴き（8名）、子ども自身が個別最適な学びを実現できることを目指し、个性的に自己の学びを自覚化できる指導法について学んだ。参加者で学んできたことをまとめ、市内の教職員に共有を行った。②久喜市桜田小学校のリーディングDX事業研究発表会に各中学校研究主任が参加。各校にて研修内容の伝達講習を実施し、自校の研究に還元した。 2. RST（リーディングスキルテスト）の活用 「どこでつまづいているのか」が明確にすることができ、受検者自身が「読む力」を意識し、高めていくことで、自ら学ぶ力を育む機会を創出することができた。 ・RST受検状況 児童生徒 57名 教員5名 計62名 3. よむYOMUワークシートの活用 各校にて読解力の基礎となる読む力育成のためのワークシートを実施。成果のあった学校の取組を市内で共有を図った。			
予算執行	当初予算額	1,707,000円		決算額 1,656,665円
	補正等			
	予算額	1,707,000円		
評価	C	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	令和6年度は、小学校では、市の平均はほぼ全国平均と同等であるが、4学年中1学年が全国平均を上回った。中学校は、全国平均より差があり、どの学年も上回ることができなかった。児童生徒の学力向上に向け、専門性を備えた教職員の育成のためには学力向上先進校への視察を続け、その内容を各校の持ち帰り共有し、教職員全体の指導力の底上げが急務である。授業改善に向け、文部科学省のリーディングDXスクール事業を活用するなど抜本的な改善にむけ、進めていく必要がある。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 豊かな学びと学力向上		【重点施策】 心身の健全育成		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課	
事業名	いわでアスリートクラブ事業				
事業の目的	陸上競技を通じて、児童の心身の健全育成を図る。				
事業概要	毎週土曜日の午前中に、中央小学校又は大宮緑地総合運動公園を使用して、岩出市内の小学生（3年生以上）を対象に、陸上競技活動を実施する。				
目標 （評価指標）	登録児童の 活動参加率	50%以上	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	【実施状況】 ・実施期間：令和6年4月20日～令和7年3月1日 ・実施回数：31回（30回） ・実施場所：中央小学校又は大宮緑地総合運動公園 ・登録者数：236名（242名） 3年生 68名（69名） 4年生 57名（65名） 5年生 60名（62名） 6年生 51名（46名） ・のべ参加人数：3,154名（3,101名） ・出席率：46.2%（45.2%） ・指導者登録者数：32名（29名） ・クラブとしての県大会への参加は中止 （ ）内は前年度実績				
予算執行	当初予算額	482,000円	決算額	369,252円	
	補正等				
	予算額	482,000円			
評価	C	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	中央小学校での練習も大宮緑地での記録会も全学年で4月から実施した。年間31回実施した。活動参加率は、46.2%と参加率は昨年より微増したが50%を下回った。 ジャベリックスローや縄跳びの回数を増やしたり、準備運動が毎回同じにならないようにしたり等、工夫をしたものの冬場の参加率の大きな改善とはならなかったため、引き続き指導者と工夫していく。 指導者の確保は、32名登録者はいるが、季節により参加率に偏りがあったものの、大学生のボランティアにも助けられ運営することができた。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 豊かな学びと学力向上		【重点施策】 学校給食の充実		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課	
事業名	学校給食運営事業				
事業の目的	学校給食衛生管理基準に基づき、共同調理場の施設の整備や食器等の充実に努めるとともに、学校給食の運営における適正化に努める。				
事業概要	(1) 年次計画による設備や食器等の整備 (2) 岩出市学校給食運営委員会の開催（議題：学校給食運営の課題等） (3) 地産地消の推進				
目標 (評価指標)	現年徴収率	100%	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	○岩出市学校給食運営委員会の開催状況 2回（7／16・2／26） ○徴収率 （ ）内は前年度実績 ・支払督促申立 1件[うち完納1件] ・現年度 99.80%（99.69%） ・滞納繰越分 80.41%（84.88%） ○工事 ・配管改修工事 ほか3件 73,669,750円 ○備品 ・学校給食用角ランチ皿 ほか 3,936,330円 ○地産地消率 （ ）内は前年度実績 55.7%（60.6%） 【内訳】米100%（100%）、野菜34.6%（42.5%）				
予算執行	当初予算額	445,218,000円	決算額	415,048,880円	
	補正等	△28,271,000円			
	予算額	416,947,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	(1) 物価高に対応した安心・安全な学校給食と栄養バランス豊かな給食の提供、給食単価見直しの検討 (2) 県公立学校給食費無償化事業補助金を活用した学校給食無償化への対応及び、補助金の継続的な実施要望 (3) 経年劣化による備品の更新及び施設の老朽化に伴う修繕の計画的な実施 (4) 無償化に伴う保護者意識の醸成に向けた学校給食運営委員会の活用				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 青少年を取り巻く環境整備		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課	
事業名	児童携帯用防犯ブザー補助事業				
事業の目的	防犯ブザー購入費の一部を補助することにより、携帯率を高め、児童を犯罪から保護し、危険を防止する。				
事業概要	各校PTAが防犯ブザーを購入する費用に対して、その1/2を補助する（児童1人につき1回限りとし、限度額400円）。				
目標 (評価指標)	小学1年生 所持率	80%以上	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	【小学1年生所持率】 令和2年度 78.4% 令和3年度 89.1% 令和4年度 85.7% 令和5年度 88.1% 令和6年度 82.1% 【申請者数】 計185名（前年度182名） 岩小 15名 山小 40名 山北 47名 根小 23名 上小 31名 央小 29名 申請率 40.1%（前年度36.8%） 【回答率】 70.4% 2,009人 / 2,854人 【参考】 【全小学生所持率】 71.3%（前年度74.5%） 所持者数 1,432人 【全中学生所持率】 8.4%（前年度21.9%） 所持者数 74人				
予算執行	当初予算額	95,000円	決算額	68,450円	
	補正等				
	予算額	95,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	目標値としている「小学1年生所持率80%」を4年続けて達成した。 児童の安全確保と同時に児童の保護者の経済的な負担軽減が図れる本事業の継続が必要であるが、子供に防犯グッズを持たせて安心するだけではなく、日頃から電池切れや故障していないかなど大人による継続的なメンテナンスが必要なことも周知していく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 青少年の活動推進		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課	
事業名	中学校防災訓練及び防災ジュニアリーダー育成事業				
事業の目的	中学生の危機意識を高めるとともに、災害時の地域防災活動において中心的な役割を担うことを意識づけるために防災訓練を実施する。				
事業概要	(1) 防災訓練 各中学校を会場に3年生全員を対象として実施 (2) 防災ジュニアリーダー育成事業 夏休みの2日間、那賀消防組合消防本部及び中消防署を会場に、中学生の希望者を募り実施				
目標 (評価指標)	なし	理由	防災訓練は学校教育の一環、ジュニア防災リーダー育成は受入体制によるため、目標設定は性質上適当でないため。		
達成状況	【実施状況】 ・啓発事業 5/31（金）防災ジュニアリーダー育成講座のポスター作成を各校へ依頼 ・防災訓練（対象者）中学3年生 ※水消火器による消火訓練再開 7/16（火） 岩出第二中学校 参加人数 229人 場所 体育館・格技場・教室等 7/19（金） 岩出中学校 参加人数 234人 場所 体育館・格技場・会議室等 ・防災ジュニアリーダー育成講座 8/6（火）8/7（水） ※2日開催再開 参加 22名（岩出中学校 6名 岩出第二中学校 16名） 場所 那賀消防組合				
予算執行	当初予算額	210,000円	決算額	174,915円	
	補正等				
	予算額	210,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	災害発生前の自助努力等に関する研修と津波防災の危機回避の意識を高めるため、視聴覚教材を用いた津波防災学習を実施。津波への危機回避に対する意識の向上を図った。 防災ジュニアリーダー育成事業では、避難所運営ゲームを導入し避難所運営を疑似体験させることができた。受講生のアンケート結果でも好評だったため、継続して実施していく。 災害発生が度重なり発生する中、防災ジュニアリーダーに求められる役割は大きく、受講者に対し「防災ジュニアリーダー受講者」である証を授与するなど参加率の向上に取り組むことが必要。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 自立と成長の促進	
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課
事業名	和歌山を元気にする職場体験事業			
事業の目的	職場体験事業を実施し、将来社会人として自立できる力を育む。			
事業概要	各中学校において学年別進路適性診断システム（PASカード）により、将来の進路希望や適性を判定するとともに、事業所の協力を得て、中学2年生を対象に3日間の職場体験を実施する。			
目標 （評価指標）	なし	理由	参加生徒数や受け入れ事業数、参加率等は目標値として妥当ではないため。	
達成状況	○職場体験（職場体験のためのマナ講座を両校にて実施）			
	項目 \ 学校名	岩出中学校	岩出第二中学校	
	実施日	9/4（水）～9/6（金）	8/28（水）～8/30（金）	
	参加者数	243人	209人	
	事業所数	83社	71社	
	○PASカード実施日	5/9（木）	5/2（木）	
	○PASカード受検数	246人	219人	
予算執行	当初予算額	610,000円	決算額	605,471円
	補正等			
	予算額	610,000円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	教室の中だけで学ぶのではなく、職場で仕事や人との関わりを経験することで、学習や働くことの意義をよく理解できる機会として、幅広い分野の職場体験先を確保する必要がある。 都市化が進む岩出市においては一次産業（農作物・畜産物などを作る「農業」、木材を生産する「林業」、海や河川などで魚介類を獲る「漁業」）の職場体験先を確保することが課題である。 また、体験先の事業所の休業日と職場体験の日程が重なる場合もあり、休業日に別事業所で受け入れてもらえるよう、協力依頼をしている。 また実施中に企業の業務の都合上、体験受け入れできない日の生徒の受け入れ先について検討する必要がある。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第5章 にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち		
	【基本施策】 国際化の推進		【重点施策】 多文化共生の推進		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	教育総務課	
事業名	外国青年招致事業				
事業の目的	小中学校の英語の授業において、外国青年の補助により英語を多用した授業を実践することにより、外国語教育の充実及び推進を図る。				
事業概要	(1) 外国青年を招致（任用期間は最長5年） (2) 英語によるコミュニケーション能力向上、国際文化への興味と理解を深める。 (3) 外国語授業助手（ALT=Assistant Language Teacher）として活用 岩出中学校、岩出第二中学校（週2）、各小学校（週1）				
目標 （評価指標）	採用人数	3名	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	○現在の任用状況				
	ウィリアム・ピアソン 令和3年から任用（小学校担当）				
	キャサリン・ヨヴァノブスキ 令和6年8月任用（小学校担当）				
	ヒューライト・マドックス 令和5年8月任用（中学校担当）				
	○活動状況（稼働日数）				
	勤務地 期別	岩出中学校	岩出第二中学校	各小学校	
1学期	33日	32日	1週間ごとに各校へ勤務		
2学期	43日	40日	1週間ごとに各校へ勤務		
3学期	24日	27日	1週間ごとに各校へ勤務		
予算執行	当初予算額	14,906,000円		決算額	14,279,694円
	補正等	0円			
	予算額	14,906,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	令和6年度では、小学校担当ALT2名から退職の申し出があったため、令和7年度において新たなALT2名を配置し外国語教育の充実及び推進を図る必要がある。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 家庭・地域との連携		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	学校支援地域ボランティア活動事業				
事業の目的	学校・家庭・地域が一体となって子供の育ちや学びを支える取組を推進する。				
事業概要	学校支援・学習支援・校内環境整備など学校支援ボランティアが学校と協力し活動				
目標 (評価指標)	ボランティア登録者数	240名	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	・ボランティア登録者数 岩出小学校 62名 山崎小学校 38名 山崎北小学校 42名 根来小学校 61名 上岩出小学校 54名 中央小学校 73名 岩出中学校 19名 岩出第二中学校 45名 合計 延べ394名 保険加入者数 265名 年間を通じて、地域の方々による学校支援ボランティアの活動により、授業補助等の支援を実施 【岩出小学校】 学習支援、折り紙遊び、小物づくり、 岩中との合同清掃活動 【山崎小学校】 図書の修理・整理、読み聞かせ、 家庭科（ミシン）、岩中との合同清掃活動 【山崎北小学校】 図書の整理、読み聞かせ、家庭科（ミシン） 町たんけん見守り、二中との合同清掃活動 【根来小学校】 下校時安全観察、町たんけん見守り、 家庭科（調理実習、ミシン）、 セタ集会、さつまいも植え・収穫、 二中との合同清掃活動 【上岩出小学校】 下校時安全観察、農園整備、運動場等草刈り、 昔遊び、二中・中央との合同清掃、 上小ふれあい祭り等 【中央小学校】 読み聞かせ、家庭科（ミシン）、 下校指導、町たんけん見守り、昔遊び、 農園整備（さつまいも等苗植え）、 駐車場等草刈り、二中・上小との合同清掃 【岩出中学校】 地域学習に係る交通安全見守り、 岩小・山小との合同清掃活動 【岩出第二中学校】 山北、根来、上小・中央との合同清掃活動、 校内ペンキ塗り P.T会議を4回開催 事業推進のために目標や方向性の検討、情報交換を行うとともに、各活動への支援と参加、学校運営協議会へのオブザーバー参加など教育総務課と連携して学校支援地域ボランティア活動の充実を図った。 2／3 市コミュニティスクール研修会に参加 「コミスク通信」の発行（19、20号を発行） 1月・3月、各学校の活動紹介や学校運営協議会の様子などを掲載したコミスク通信を発行し、各学校に配付 9・3月 広報誌にボランティア募集の記事掲載 年間の各学校のボランティア活動実績一覧表を各学校へ配付				
予算執行	当初予算額	267,000円	決算額	238,871円	
	補正等				
	予算額	267,000円			
評価	a	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	各学校に沿ったボランティア活動の充実を図るため、ボランティア、学校と情報共有を図りながら、協力者への協力依頼と活動をサポートしていく必要がある。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 青少年を取り巻く環境整備 青少年活動の推進	
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課
事業名	青少年健全育成事業			
事業の目的	学校・家庭・地域及び行政が連携し、安全な環境づくりを目指し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る。			
事業概要	青少年の健全育成を図るため、様々な分野からの働きかけを行い、総合的に効果が上がるよう取り組む。（活力ある地域活動・家庭教育支援活動・意識啓発のための活動・関係機関との連携、情報収集・子供を守るための活動）			
目標 （評価指標）	なし	理由	催しの参加対象・人数が変更する場合があります、目標の数値化が困難なため	
達成状況	【青少年育成市民会議】 4月 小中学校参観日にあわせた合同街頭啓発 5／10 定期総会、各支部会 7／11 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」講演会 演題「すてきな見方は、すてきな味方がいっぱい」 講師 和歌山教育カウンセリングルーム カウンセラー 岩崎哲 氏 参加人数138名 7／17 夏の子供を守る運動街頭啓発 マツゲン岩出中黒店、マツゲン岩出中迫店 啓発物資600個配布 参加人数36名 7・8月 市役所、図書館に啓発コーナー設置、啓発物資配布 8／21、22 子供たちを犯罪等から守る活動の一環として、市内幼保、小中学校、自治会 公共施設へ幟旗設置（32か所） 8／28 「絆」ポスター審査会 応募総数170点（市内小中学生を対象に募集） 9／7 第19回岩出市青少年育成市民大会 参加人数339名 表彰状授与（若葉台団地青少年育成会） 賞状授与（「絆ポスター」優秀賞8名） 少年の主張作文発表 中学生4名 アトラクション 岩出中学校吹奏楽部演奏 地区育成会活動紹介パネル展示 「絆」ポスター展示 170点 10／13 第19回岩出市民運動会にて啓発活動 小学生のメッセージ入りティッシュの配布 11／1 育成だより全戸配布（約24,000部） 11／2、3 第19回岩出市文化祭にて、小学生のメッセージ入りティッシュの配布 11／3 第19回岩出市文化祭にてぬりえ付きメッセージチラシ配布 11／30 スポレクフェスタ開催 参加人数259名 小学校区別対抗玉入れ、綱引きなど実施 12／17 冬の子供を守る運動街頭啓発 マツゲン中迫店、マツゲン中黒店 啓発物資600個配布 参加人数36名 1／30、2／6 小学校区別（合同）懇談会（中学校区別に2回開催） 参加人数104名 課題提起 テーマ：「不登校について考えよう ～子供たちを取り巻く私たちの役割とは～」 講師：岩出市学校教育指導員 稲本雅美 氏 各学校から現況報告、青少年センターから不審者情報等について報告、 地域の意見 3／21 育成通信発行（各小中学校を通じて家庭へ配布） 年間を通じて、関係団体と連携してあいさつ運動や各種活動に取り組んだ。			

達成状況	【地域活動連絡協議会】 4／20 定期総会、第1回役員会 5／23 第1回ジュニア・シニアリーダー会 6／8 ドッジボール講習会（県ドッジボール協会による講習会） 参加児童48名、指導員・保護者等54名 第2回役員会、第2回ジュニア・シニアリーダー会 7／6 ドッジボール大会 出場7チーム、選手90名、指導員・保護者等133名 8／6、8／7 子ども・リーダー交流会（地域活動連絡協議会） 和歌山市立青少年国際交流センター 参加人数21名（モルック、キャンプファイヤー、工作等） 8／24 和歌山県地域子ども集団親睦交流スポーツ大会（ドッジボール） 白浜町立総合体育館 1チーム出場、参加人数 16名 11／13 岩出市地域活動連絡協議会指導者研修会 みそづくり 参加人数18名 3／26 第3回役員会			
予算執行	当初予算額	2,990,000円	決算額	2,855,150円
	補正等			
	予算額	2,990,000円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	青少年健全育成活動を継続して多くの市民に周知できるよう、関係団体や家庭・学校・地域及び行政が連携し安全な環境づくりに取り組みより多くの市民の参加を目指す。 今後も、子供たちが活躍できる場やイベントを計画して実施できるよう努める。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 自立と成長の促進		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	はたちのつどい事業				
事業の目的	はたちという人生の節目を迎える方を祝い励ますとともに、社会人としての自覚と地域への愛着心を育む。				
事業概要	式典、イベント				
目標 (評価指標)	参加率	72.50%	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	8/ 1 市ウェブサイトを実施内容掲載 9/ 9 手話通訳者派遣依頼 10/ 1 市ウェブサイト在市外在住者用参加申込みフォーム作成 10/ 3 市ウェブサイト、ラインに協力者（感謝の言葉、記念品受取り）募集を案内 10/22 イベント出演者の選定、決定 11/12 職員協力依頼 12/ 4 対象者案内状発送、来賓案内状発送、警察官派遣依頼 12/20 柄付き看板作成 1/11 バルーン搬入、バリケード設置 1/12 リハーサル（音響・司会・感謝の言葉）、生花設置 1/13 当日午前9時～受付 午前10時～ 第一部 式典 午前10時40分～第二部 記念イベント キンタロー。ねんねん 対象者（男）348名（女）309名（計）657名 出席者（男）244名（女）218名（計）462名 462/657=70.3% 1/16 礼状送付				
予算執行	当初予算額	1,700,000円	決算額	1,679,837円	
	補正等				
	予算額	1,700,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	スムーズな運営ができる職員配置（場所、時間）検討 駐車場の運用方法の検討				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 文化・芸術活動の推進		【重点施策】 文化・芸術活動の推進		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	文化協会助成事業				
事業の目的	文化振興・文化交流に資する団体への助成				
事業概要	岩出市文化協会への助成				
目標 (評価指標)	団体数	39団体	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	事業計画に沿った事業の推進を図り、会員相互の交流と各クラブの活動助成を実施することにより、市の文化活動の発展に寄与することができた。 （文化協会事業実施状況） ・総会の開催 ・理事会（年2回）、常任理事会（年4回）の開催 ・市内で作品展示やコンサートの実施（各クラブ） ・会員研修の実施 ・補助金の交付 ・文化祭の実施 芸能発表14クラブ出演 ・観光投句の審査 民俗資料館展示 ・会報の発行（各クラブに原稿を依頼） 令和6年度 会員数 579名 クラブ数 32クラブ（休会中4クラブ除く） 令和5年度 会員数 596名 クラブ数 33クラブ（休会中5クラブ除く） 令和4年度 会員数 642名 クラブ数 34クラブ（休会中4クラブ除く） 令和3年度 会員数 680名 クラブ数 35クラブ（休会中4クラブ除く） 令和2年度 会員数 745名 クラブ数 37クラブ（休会中2クラブ除く） 令和元年度 会員数 828名 クラブ数 37クラブ（休会中2クラブ除く）				
予算執行	当初予算額	1,140,000円	決算額	1,140,000円	
	補正等				
	予算額	1,140,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	引き続き文化祭などで活動の成果発表の場を設け、より多くの市民に興味・関心をもってもらい、新規会員・クラブの獲得に努めたい。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 文化・芸術活動の推進		【重点施策】 文化・芸術活動の推進		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	文化祭事業				
事業の目的	文化活動成果発表の機会の場の提供をし、文化活動の振興と普及を図り、文化への理解と市民のふれあいの場を作る。				
事業概要	作品展示や芸能発表、各種イベントを行う文化祭を実行委員会形式で開催する。				
目標 (評価指標)	来場者数	21,000人	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	第1回実行委員会 6月26日（水）開催 第2回実行委員会 12月3日（火）開催 文化祭 開催日 令和6年11月2日（土）・3日（日・祝） 開催場所 市民総合体育館 ほか 入場者数 14,365人 テーマ 「ひろげよう 輝く文化 笑顔の輪」 作品展示 一般作品（412点）、いわで文化作品（15点） 幼稚園・保育所等、小中学校等の作品、市民憲章、 障害福祉サービス事業所作品展示、小学生俳画作品展 芸能発表 1日目：文化協会芸能部会14団体、学生等の団体3団体の発表 2日目：保育所等9園の発表 1日目：502人 2日目：1,526人 ふれあいの広場 文化協会（4クラブ）、他8団体 ※荒天のため1日目は12時15分で中止 その他 絵手紙体験、生花体験、発明クラブ体験、お茶席コーナー 旧和歌山県議会議事堂で囲碁大会・将棋大会の実施 令和5年度 入場者数 14,755人 令和4年度 入場者数 11,544人 令和3年度 入場者数 9,868人 令和2年度 中止 令和元年度 入場者数 20,557人				
予算執行	当初予算額	3,330,000円	決算額	3,162,078円	
	補正等				
	予算額	3,330,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	各種催しでマンネリ化している部分があるため、作品募集の見直しや、新しい要素を加えた催しを実施し、会場の演出も工夫するなどして、来場者に満足してもらえるよう努める。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 文化・芸術活動の推進 生涯学習の充実		【重点施策】 文化・芸術活動の推進 生涯学習の振興		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	公民館フェア事業				
事業の目的	文化教室、公民館利用サークルによる成果発表の場の提供と、友達づくりや市民のふれあいの機会をつくることを目的とする。				
事業概要	文化教室受講生や公民館で文化活動を行っている方の作品展示や芸能発表などを行う公民館フェアを開催する。				
目標 (評価指標)	参加者数	1,500人	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	【公民館フェア】 日時：令和7年3月1日（土）・2日（日） 場所：岩出市総合保健福祉センター 入場者数：3,169名 ○公民館コンサート（3月1日） 出場団体：15団体 ○公民館ギャラリー（3月1日、2日） 出展団体：21団体、171名 ○体験コーナー（3月1日） 和菓子づくり体験、己書（筆ペンアート）体験				
予算執行	当初予算額	294,000円	決算額	177,700円	
	補正等				
	予算額	294,000円			
評価	a	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	公民館フェアについては、新たに設立されたクラブ・サークルにも直接声掛けを行って、参加者の獲得に努める。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	放課後子ども教室推進事業				
事業の目的	安心・安全な子供の居場所を設け、地域の方々の参画を得て、勉強や文化活動、地域住民との交流活動を推進する。				
事業概要	学習活動、文化活動、地域住民との交流活動				
目標 (評価指標)	年間参加者数	2,000人	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	年3回放課後子どもプラン運営委員会開催 社会教育委員会議議長、青少年育成市民会議委員長、保護司会会長、民生・児童委員協議会会長、更生保護女性会会長、小学校PTA会長、小学校長代表、指導主事で構成。 市内6小学校で（80教室、135日、参加児童延べ2,381人）放課後子ども教室を実施。 学校の時間割変更や講師都合により、実施日の変更はあったが、中止することなく実施することができた。 また、勉強や文化的な活動（読み聞かせ・工作・華道・絵手紙・浴衣着付など）、地域住民との交流活動（マジック）、伝統文化に触れる活動（根来の子守唄・塗工作）により、子供たちが地域の方々と心豊かで健やかに育まれる活動が推進できた。				
予算執行	当初予算額	3,308,000円	決算額	2,356,302円	
	補正等	0			
	予算額	3,308,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	・ 新規教室の検討 ・ 講師・サポーター等教室協力者の調整・確保。 ・ 空き教室、授業科目、開始時間及び、夏休み期間の予定による活動開始日及び日程時間を学校と調整。募集定員・教室時間数を講師と調整。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	生涯学習を考えるつどい事業				
事業の目的	より豊かに充実した生活を送るための生涯学習機会を提供する。				
事業概要	文化祭の前夜祭として生涯学習を考えるつどいを開催				
目標 (評価指標)	参加者数	300人	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	7月9日 開催要項決定 7月26日 出演候補者選定・交渉開始 8月21日 チラシ・プログラムについて契約 9月19日 出演者契約締結 9月27日 市ウェブサイトイベント掲載 10月4日 各地区公民館、市民総合体育館、岩出図書館、民俗資料館、一乗閣、 歴史の丘、あいあいセンター、さぎのせ公園、道の駅にチラシ配布 10月6日 新聞折込チラシ配布 10月21日 市LINEにイベント掲載 11月1日 タルトタタン～オータムコンサート～を開催 313名が参加				
予算執行	当初予算額	1,072,000円	決算額	324,330円	
	補正等	△460,000円			
	予算額	612,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	交流の広がりが期待でき、文化を感じられる催しとなるよう出演者・演目について検討する。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	公民館事業（ふれあい・成人・家庭教育）				
事業の目的	60歳以上対象のふれあい学級、18歳以上対象の成人講座、保育所（園）・幼稚園・こども園の保護者対象の家庭教育学級を開催し、相互の交流や積極的に地域社会に寄与するための学習活動を行う。				
事業概要	ふれあい学級 年10回/5学園、成人講座 年10回、家庭教育学級 年10回				
目標 （評価指標）	参加者数	3,000人	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	・ふれあい学級 5学園で年10講座開催。50回1,799名参加 3月講座開催時に開催方法、講座内容、参加理由等のアンケート実施。 ・成人講座 10月に現地学習を実施。10回804名参加 2月講座開催時に開催方法、講座内容、参加理由等のアンケート実施。 ・家庭教育学級 6月と10、11月に分けて市内保育所（園）・幼稚園・こども園で1回ずつ開催。10会場978名参加 1月に保育所等を対象とした開催日程、講座内容等のアンケート実施。				
予算執行	当初予算額	118,500円	決算額	553,006円	
	補正等	0			
	予算額	118,500円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	参加者や保育所等へのアンケート結果を活用し、市民の学習ニーズに対応した講座メニュー、講演会講師などの選定、募集の仕方、開催方法について工夫するなど、より良い事業となるよう努めていく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	公民館教室事業				
事業の目的	市民のニーズにあった教室を開催し、学習機会の提供と、学ぶことの楽しさと市民のふれあいの場を作る。高度情報化社会に対応するため、市民のパソコン操作の基礎能力の習得を目的とする。				
事業概要	書道教室、料理教室、陶芸教室、体操教室等を開催。パソコン基礎教室の開催（基礎操作から文書作成、インターネット検索、表作成等の応用編まで36回コース）				
目標 （評価指標）	参加者数	300人	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	・公民館文化教室：知識や技術を身につけるだけでなく、共に学習する仲間として人と人の結びつきを深めることを目的としている。教室修了者の一部の方は教室生同士でサークルを結成し、学習を継続されている。 【令和6年度実施教室】 初歩の書道、中級の書道、毛筆・ペン字、己書（筆ペンアート）、ヤムナ&ピラティス、男の料理、健康料理、季節の和菓子、初心者のための手話、フラワーアート、陶芸、健康体操、ガーデニング（入門）、はじめてのえんぴつ画、子どもクッキング、少年少女コーラス、らくらく体操、姿勢が良くなるストレッチ 受講者数 268人 己書（筆ペンアート）は令和6年度から実施（※実績内訳別紙）。 ・パソコン教室：パソコンの技術を基本操作から習得し、共に学習する仲間と人と人の結びつきを深めることを目的としている。多くの方がパソコンの技術を取得されるとともに、交流も深められた。 【令和6年度実施教室】 パソコン教室A（午前の部）・パソコン教室B（午後の部） 受講者数 15人（※実績内訳別紙）				
予算執行	当初予算額	3,384,000円	決算額	3,260,778円	
	補正等				
	予算額	3,384,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	己書（筆ペンアート）、季節の和菓子など人気の講座は一部定員を増やして引き続き実施。 受講状況やアンケート結果を考慮して、定員の増減や講座内容の検討を図る。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

令和6年度 文化教室 実績

教室名	定員	受講者数	延参加人数	開催回数
初歩の書道	15人	13人	194人	20回
中級の書道	20人	13人	186人	20回
毛筆・ペン字	20人	20人	178人	11回
己書（筆ペンアート）	10人	10人	90人	12回
ヤムナ&ピラティス	20人	20人	235人	18回
男の料理	12人	8人	78人	11回
健康料理	12人	9人	73人	10回
季節の和菓子	20人	20人	174人	11回
初心者のための手話	30人	30人	456人	20回
フラワーアート	15人	7人	66人	11回
陶芸	15人	12人	101人	11回
健康体操	15人	15人	235人	20回
ガーデニング（入門）	20人	19人	141人	11回
はじめてのえんぴつ画	20人	20人	226人	20回
子どもクッキング	20人	15人	143人	11回
少年少女コーラス	15人	10人	178人	20回
らくらく体操	12人	12人	197人	19回
姿勢が良くなるストレッチ	15人	15人	196人	20回
計	306人	268人	3,147人	276回

令和6年度 パソコン教室 実績

教室名	定員	受講者数	延参加人数	開催回数
パソコンA	10人	6人	196人	36回
パソコンB	10人	9人	258人	36回
計	20人	15人	454人	72回

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	公民館講座事業				
事業の目的	障害の有無にかかわらず様々な活動に取り組むきっかけをすることにより、市民の交流の場を作るとともに生涯学習の推進を図ることを目的とする。				
事業概要	夏休みと冬休みの子供向けの講座、冬期の一般向け講座を開催する。				
目標 (評価指標)	参加者数	300人	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	【公民館講座】 ・夏のこども講座 サマークッキング 3回（7/31、8/1、8/5） 定員60名（各回20名）受講者数計60名（応募者数計66名） おもしろ工作教室 3回（7/31、8/1、8/5） 定員60名（各回20名）受講者数計58名（応募者数計62名） ・冬のこども講座 2回（12/15 午前午後の2部制） 親子1組で参加のクリスマスリースづくり教室を実施 定員40組（各回20組） 受講者数 計35組70名（応募者数 計42組 84名） ・冬の一般講座 季節のお菓子と料理 1回（1/26）定員24名 受講者数 21名（応募者数 21名） ・にじいろ講座（障害者対象講座） レクリエーション書道 2回（8/29、12/5） 定員25名 受講者18名 応募19名 リフレッシュ体操2回（9/4、12/11）定員25名 受講者32名 応募37名 コアバランス&リラックスヨガ講座 1回（9/12） 定員10名 受講者20名 応募20名 マルさんかくアート 1回（11/25）定員10名 受講者8名 応募8名 己書（筆ペンアート） 1回（11/29）定員10名 受講者6名 応募7名				
予算執行	当初予算額	224,000円	決算額	176,097円	
	補正等				
	予算額	224,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	にじいろ講座（障害者対象講座）は、より多くの学ぶ機会を提供できるよう新しい講座の開講できるよう努める。 一般講座・子ども講座も講座内容の充実に努める。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習施設の整備		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	地区公民館運営事業				
事業の目的	生涯学習を推進するための拠点として機能と施設の整備の充実を図る。				
事業概要	地区公民館の運営・管理及び施設の改修（修繕）				
目標 （評価指標）	利用者数	60,000人	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	・管理人雇用 11人 4月1日辞令交付 シルバー人材センターとの派遣委託 ・貸館利用件数 4,995件（令和5年度 4,836件） 利用人数 54,778人（令和5年度 54,616人） ・紀泉台地区公民館開館時間変更 「13時～21時」から「9時～17時」に変更 【工事】 上岩出地区公民館・・・外壁等改修工事 紀泉台地区公民館・・・屋上防水等工事 各地区公民館・・・非常用照明修繕工事 など 【その他修繕】 中央公民館・・・2階上下水道局事務室空調機修繕 上岩出地区公民館・・・上水道漏水箇所修繕 山崎地区公民館・・・1階空調室外機修繕 など				
予算執行	当初予算額	88,676,000円	決算額	93,228,276円	
	補正等	8,176,000円			
	予算額	96,852,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	建築から40～50年経過している施設が大多数を占めるため、長寿命化計画に基づき、改修等の対策を進めていく必要がある。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																																					
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興																																					
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課																																				
事業名	市民運動会事業																																							
事業の目的	幼児から高齢者までの全ての市民が一堂に会し、スポーツ・レクリエーション活動に親しみ、市民相互の親睦とスポーツを通しての健康・体力づくりを行う動機付けを図るとともに、市民の交流を深める。																																							
事業概要	参加者が「スポーツの秋」の1日をスポーツで楽しめるよう、運動会種目及びアトラクションを実施する。総合スポーツ大会としては、各体育協会が主導のもと大会を実施する。																																							
目標 (評価指標)	参加人数	10,000人	第3次長計（前期）【令和7年度】																																					
達成状況	○市民運動会 ・参加者推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>(年度)</th> <th>(参加人数)</th> <th>(各年度採用新種目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>8,606名</td> <td>スカットと割ってスカットと玉入れスカットと岩出市、倒せ！ボウリングマン</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>8,958名</td> <td>玉入れ半端ないって！俺はくす玉割ったけどね、2019ねんりんピック岩出はベタンク</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>6,034名</td> <td>翔平・なおみに負けるな！くす玉割って玉入れ、ねんりんピック岩出やってみようベタンク</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>0名</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>682名</td> <td>岩出市こどもスポーツフェスティバル</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>0名</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>6,650名</td> <td>くす玉割って玉いれましょう、ベタンクやってぴったんこ</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>8,042名</td> <td>くす玉割って玉いれましょう、いわでオリンピック2024</td> </tr> </tbody> </table> ○総合スポーツ大会 <table border="1"> <thead> <tr> <th>(年度)</th> <th>(団体数)</th> <th>(協議種目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>6団体</td> <td>グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>10団体</td> <td>グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー、テニス、ゲートボール、ベタンク、ゴルフ</td> </tr> </tbody> </table>				(年度)	(参加人数)	(各年度採用新種目)	平成29年度	8,606名	スカットと割ってスカットと玉入れスカットと岩出市、倒せ！ボウリングマン	平成30年度	8,958名	玉入れ半端ないって！俺はくす玉割ったけどね、2019ねんりんピック岩出はベタンク	令和元年度	6,034名	翔平・なおみに負けるな！くす玉割って玉入れ、ねんりんピック岩出やってみようベタンク	令和2年度	0名	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	令和3年度	682名	岩出市こどもスポーツフェスティバル	令和4年度	0名	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	令和5年度	6,650名	くす玉割って玉いれましょう、ベタンクやってぴったんこ	令和6年度	8,042名	くす玉割って玉いれましょう、いわでオリンピック2024	(年度)	(団体数)	(協議種目)	令和5年度	6団体	グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー	令和6年度	10団体	グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー、テニス、ゲートボール、ベタンク、ゴルフ
(年度)	(参加人数)	(各年度採用新種目)																																						
平成29年度	8,606名	スカットと割ってスカットと玉入れスカットと岩出市、倒せ！ボウリングマン																																						
平成30年度	8,958名	玉入れ半端ないって！俺はくす玉割ったけどね、2019ねんりんピック岩出はベタンク																																						
令和元年度	6,034名	翔平・なおみに負けるな！くす玉割って玉入れ、ねんりんピック岩出やってみようベタンク																																						
令和2年度	0名	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止																																						
令和3年度	682名	岩出市こどもスポーツフェスティバル																																						
令和4年度	0名	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止																																						
令和5年度	6,650名	くす玉割って玉いれましょう、ベタンクやってぴったんこ																																						
令和6年度	8,042名	くす玉割って玉いれましょう、いわでオリンピック2024																																						
(年度)	(団体数)	(協議種目)																																						
令和5年度	6団体	グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー																																						
令和6年度	10団体	グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー、テニス、ゲートボール、ベタンク、ゴルフ																																						
予算執行	当初予算額	4,605,000円	決算額	4,474,044円																																				
	補正等																																							
	予算額	4,605,000円																																						
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																																						
事業課題等	実施内容についてマンネリ化の傾向が見られるため、関係各所から意見を聴取し、魅力ある運動会となるよう努める。 また、スポーツ推進委員会による演技種目、アトラクション、ニューススポーツコーナー等、趣向を凝らした運動会となるよう検討する。 また、総合スポーツ大会では、多くの市民がスポーツに触れ合うことができる仕組みを構築し、実施協会の増加を目指す。																																							
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																																			

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																									
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興																									
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課																								
事業名	市マラソン大会事業																											
事業の目的	市民及び参加者に、健康・体力づくりをするための生涯スポーツの普及と振興を推進するとともに、マラソン大会を開催することにより、岩出市を広く内外にアピールする。																											
事業概要	一般15km・5km 小学生3km ファミリー2km（コスプレ含む）に分け、早春の根来路を走る。																											
目標 （評価指標）	エントリー人数	3,000人	第3次長計（前期）【令和7年度】																									
達成状況	令和2年度 エントリー 400名、参加 342名 令和3年度 エントリー 1,064名、参加 0名 令和4年度 エントリー 1,234名、参加 1,106名 令和5年度 エントリー 1,274名、参加 1,163名、コスプレ16組 令和6年度 エントリー 1,552名、参加 1,448名、コスプレ14組 エントリー者推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>293名</td> <td>433名</td> <td>493名</td> <td>524名</td> <td>666名</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>107名</td> <td>631名</td> <td>741名</td> <td>750名</td> <td>886名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>400名</td> <td>1,064名</td> <td>1,234名</td> <td>1,274名</td> <td>1,552名</td> </tr> </tbody> </table>					R2	R3	R4	R5	R6	市内	293名	433名	493名	524名	666名	市外	107名	631名	741名	750名	886名	計	400名	1,064名	1,234名	1,274名	1,552名
	R2	R3	R4	R5	R6																							
市内	293名	433名	493名	524名	666名																							
市外	107名	631名	741名	750名	886名																							
計	400名	1,064名	1,234名	1,274名	1,552名																							
予算執行	当初予算額	4,300,000円		決算額	4,298,907円																							
	補正等																											
	予算額	4,300,000円																										
評価	C	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																										
事業課題等	実施内容について、一般10kmから15kmに復活させ、近畿大学キャンパス内を走行し、キッチンカーを出店して、来場者への飲食提供を通じてイベントを盛り上げたが、マラソン大会を更なる岩出市のイベント化として強化する必要がある。 最重要課題である安心・安全の確保については、現在まで大きな事故は発生していないものの、あらゆるリスクを想定し、参加者の安全確保に向けた取組を引き続き行っていく。 また、道の駅ねごろ歴史の丘と本事業を上手くタイアップさせることで、市の観光振興についても一層貢献できるよう努める。																											
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																							

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	スポーツ教室・レクリエーション事業				
事業の目的	スポーツの楽しさや健康づくりを広め、市民の多様なニーズに応えながら、参加と交流の場を提供する。				
事業概要	健康体力の増進及びふれあいの場を提供するため、各種スポーツ教室を開催				
目標 (評価指標)	参加者数	270人	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	ヨガ教室、エアロビクス教室、ヘルスアップ教室及びウォーキング教室は、気軽にかつ楽しく参加できる取り組みとして、市民の健康増進や交流の場として貢献できた。 親子体操教室は、親と子がコミュニケーションを取りながら運動することができるとともに、3歳児を持つ親たちの交流の場となった。 親子体操教室（定員なし） 水曜日・木曜日コース：全20回開催 78名（親37名、子41名） ヨガ教室（定員60名） 全10回開催 41名参加 エアロビクス教室（定員60名） 全10回開催 39名参加 ヘルスアップ教室（定員30名） 全10回開催 32名参加 ウォーキング教室（定員20名） 全12回開催 18名参加 計 208名 各種ニュースポーツ教室を実施することにより、ニュースポーツを広く周知し、スポーツに親しんでいただけた。 7月 ニュースポーツ（第1回） 種目：モルック 参加者数：13人 8月 ニュースポーツ（第2回）兼いきいき広場オープニング式典イベント 種目：モルック 参加者数：14人 2月 ニュースポーツ（第3回） 市民プール指定管理社と共催 種目：ポッチャ 参加者数：18人 計 45名 合計 253名				
予算執行	当初予算額	1,867,000円	決算額	1,078,250円	
	補正等	△28,000円			
	予算額	1,839,000円			
評価	C	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	親子体操教室については、例年、3歳児世帯宛てに案内文を直接送付し、参加を促してきたところであるが、更なる受講率を向上するよう周知に努める。 各教室については、気軽さという点で概ね好評をいただいている。今後、市民のニーズが多様化する中、種目の追加、見直しなどの検討が必要である。 また、ニュースポーツ教室については、市の広報紙やウェブサイト掲載等、ニュースポーツの魅力を広く周知し、教室や講習会への積極的な参加を促す。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																					
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興																					
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課																				
事業名	体育協会助成事業																							
事業の目的	市民の健全なスポーツ及びレクリエーションの奨励に努め、社会人及び青少年の運動競技の振興とその育成強化を補助する。																							
事業概要	体育協会への補助																							
目標 (評価指標)	会員人数	1,700人	第3次長計（前期）【令和7年度】																					
達成状況	市体育協会に所属する19協会に対して補助を行うことで、各協会の運営について支援することができた。 <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>22協会（55団体）</td> <td>1,335名</td> <td>1,963,000円（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>22協会（50団体）</td> <td>1,272名</td> <td>1,963,000円（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>21協会（51団体）</td> <td>1,245名</td> <td>1,963,000円（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>20協会（49団体）</td> <td>1,208名</td> <td>1,963,000円（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>19協会（46団体）</td> <td>1,121名</td> <td>1,963,000円（補助額）</td> </tr> </table> 事業実施の協力を得ている市行事 市民運動会（ニューススポーツコーナー・体力テスト・アトラクション）、市マラソン大会、クリーン缶トリー運動イン岩出 大会参加実績 第78回国民スポーツ大会グラウンドゴルフ競技会 第37回全国グラウンドゴルフ交歓岡山県大会 第55回全国ママさんバレーボール大会 近畿地区2・3級普及指導員研修交歓大会				令和2年度	22協会（55団体）	1,335名	1,963,000円（補助額）	令和3年度	22協会（50団体）	1,272名	1,963,000円（補助額）	令和4年度	21協会（51団体）	1,245名	1,963,000円（補助額）	令和5年度	20協会（49団体）	1,208名	1,963,000円（補助額）	令和6年度	19協会（46団体）	1,121名	1,963,000円（補助額）
令和2年度	22協会（55団体）	1,335名	1,963,000円（補助額）																					
令和3年度	22協会（50団体）	1,272名	1,963,000円（補助額）																					
令和4年度	21協会（51団体）	1,245名	1,963,000円（補助額）																					
令和5年度	20協会（49団体）	1,208名	1,963,000円（補助額）																					
令和6年度	19協会（46団体）	1,121名	1,963,000円（補助額）																					
予算執行	当初予算額	1,963,000円	決算額	1,963,000円																				
	補正等																							
	予算額	1,963,000円																						
評価	C	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																						
事業課題等	スポーツ離れに歯止めをかけるべく、新たな団体の協会への加入促進を図っている。積極的に協会加入を促しているところもあれば、一部の協会は高齢化し、新規協会の確保に向けて積極性がないところもあるため、それらの団体に対するフォローが必要である。 各協会がチラシ等で新規協会員を募る場合、総合体育館の掲示板利用など、機会の提供に努める。 また、市民運動会においても、引き続き、ニューススポーツコーナーで競技の魅力を知ってもらい、新規協会員獲得に繋げていく。																							
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																			

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																									
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興																									
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課																								
事業名	スポーツ少年団助成事業																											
事業の目的	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活発化を図り、青少年にスポーツを振興し、もって青少年の心身の健全な育成に資する。																											
事業概要	市スポーツ少年団各団への助成																											
目標 (評価指標)	加入割合	25%	第3次長計（前期）【令和7年度】																									
達成状況	○少年団数の変遷																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>団数</th> <th>団員数</th> <th>補 助 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>18団</td> <td>568名</td> <td>2,244,000円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>17団</td> <td>628名</td> <td>2,244,000円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>17団</td> <td>574名</td> <td>2,244,000円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>17団</td> <td>589名</td> <td>2,244,000円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>17団</td> <td>591名 ①</td> <td>2,244,000円</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	団数	団員数	補 助 額	令和2年度	18団	568名	2,244,000円	令和3年度	17団	628名	2,244,000円	令和4年度	17団	574名	2,244,000円	令和5年度	17団	589名	2,244,000円	令和6年度	17団	591名 ①	2,244,000円
	年 度	団数	団員数	補 助 額																								
	令和2年度	18団	568名	2,244,000円																								
	令和3年度	17団	628名	2,244,000円																								
	令和4年度	17団	574名	2,244,000円																								
	令和5年度	17団	589名	2,244,000円																								
	令和6年度	17団	591名 ①	2,244,000円																								
	令和6年7月末児童数 2,859名 ②																											
	スポ少加入割合 20.67% (①÷②)																											
○大会参加実績																												
(全国)																												
全農杯2024年全国卓球選手権大会（ホープス・バンビの部）																												
第38回全国ホープス西日本ブロック卓球大会																												
第40回記念若葉カップ全国小学生バドミントン大会（男子）（女子）																												
第18回全国中学生少林寺拳法大会																												
第25回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会																												
第24回全日本少年少女空手道選手権大会																												
第37回全国小学生ハンドボール大会																												
JOCジュニアオリンピックカップ第43回全日本ジュニアバドミントン選手権大会																												
2024年少林寺拳法全国大会 in 富士のくに																												
第33回全国小学生バドミントン選手権大会																												
TOKYO OPEN2025第77回東京卓球選手権大会																												
第25回全日本中学生バドミントン選手権大会																												
(近畿)																												
第42回近畿ブロックスポーツ少年団バレーボール交流大会																												
第73回近畿中学校総合体育大会バドミントン競技大会（男子）（女子）																												
第33回全国小学生バドミントン選手権大会近畿ブロック予選会																												
第11回近畿少年少女空手道選手権大会																												
第37回近畿小学生バドミントン大会																												
(県)																												
第76回和歌山県中学校総合体育大会バドミントン競技の部（男子）（女子）																												
令和6年度和歌山県中学新人大会バドミントン競技の部																												
第6回MTK弁慶旗争奪学童軟式野球大会																												
第45回近畿小学生バレーボール選手権大会																												
○その他																												
団員確保に向けて、総合体育館掲示板に通年で募集チラシを掲示したほか、「一日体験会」を実施した。																												

予算執行	当初予算額	2,244,000円	決算額	2,244,000円
	補正等			
	予算額	2,244,000円		
評価	C	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	未加入スポーツの取組や各団体へ団員の増についての方策を探るとともに、スポーツ離れにならないよう、小学校などに団員募集チラシを配置していただくなど、団員数の増加を図る。また、市のウェブサイトを活用して加入促進にも努める。 「一日体験会」については、引き続き実施する。 児童生徒にいかに関心を持ってスポーツの魅力を発信できるか、また、生涯スポーツの裾野を拡大させられるかということが重要であり、団員数の多少に関わらず、継続検討しなければならない。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																																					
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興																																					
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課																																				
事業名	大会等選手派遣補助事業																																							
事業の目的	スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に要する経費の一部を補助する。団体・個人への旅費補助（特定団体）																																							
事業概要	全国・近畿・県大会への補助（体育協会、スポーツ少年団）																																							
目標 （評価指標）	なし	理由	全国大会等に出場する場合の補助であるため目標設定に適さないため																																					
達成状況	本年度は、全国大会16件、近畿大会7件、県大会5件、計28件の派遣補助を行い、スポーツの振興を図ることができた。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">体育協会</td> <td style="width: 30%;">2団体（全国3件、近畿1件、県0件）</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団</td> <td>7団体（全国13件、近畿6件、県5件）</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">令和元年度</td> <td style="width: 10%;">13団体</td> <td style="width: 10%;">830,</td> <td style="width: 10%;">220円</td> <td style="width: 60%;">（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>6団体</td> <td>346,</td> <td>390円</td> <td>（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>5団体</td> <td>600,</td> <td>950円</td> <td>（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>10団体</td> <td>1,293,</td> <td>558円</td> <td>（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>10団体</td> <td>1,325,</td> <td>308円</td> <td>（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>9団体</td> <td>1,682,</td> <td>724円</td> <td>（補助額）</td> </tr> </table>				体育協会	2団体（全国3件、近畿1件、県0件）		スポーツ少年団	7団体（全国13件、近畿6件、県5件）		令和元年度	13団体	830,	220円	（補助額）	令和2年度	6団体	346,	390円	（補助額）	令和3年度	5団体	600,	950円	（補助額）	令和4年度	10団体	1,293,	558円	（補助額）	令和5年度	10団体	1,325,	308円	（補助額）	令和6年度	9団体	1,682,	724円	（補助額）
体育協会	2団体（全国3件、近畿1件、県0件）																																							
スポーツ少年団	7団体（全国13件、近畿6件、県5件）																																							
令和元年度	13団体	830,	220円	（補助額）																																				
令和2年度	6団体	346,	390円	（補助額）																																				
令和3年度	5団体	600,	950円	（補助額）																																				
令和4年度	10団体	1,293,	558円	（補助額）																																				
令和5年度	10団体	1,325,	308円	（補助額）																																				
令和6年度	9団体	1,682,	724円	（補助額）																																				
予算執行	当初予算額	2,017,000円		決算額	2,282,023円																																			
	補正等	266,000円																																						
	予算額	2,283,000円																																						
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																																						
事業課題等	スポ少・体協の各団体の全国・近畿・県大会への出場回数が流動的であることや、大会の開催場所の変更による旅費金額の変動があるため、当初予算内での対応が難しい場合がある。																																							
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																																			

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																																																	
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 スポーツ環境の整備																																																	
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課																																																
事業名	スポーツ施設運営事業																																																			
事業の目的	市民に安全かつ快適に施設を利用してもらい、気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむとともに、健康づくりや交流を深めるための場を提供する。健康と体力の増進を図るとともに、催し物の充実を図る。																																																			
事業概要	市民に安全かつ快適に施設利用してもらうため、日々施設内点検を心がけるとともに、サービス向上に取り組む。卓球・バドミントン等・スポーツで体力づくり・余暇を楽しむ。																																																			
目標 (評価指標)	施設利用者数	360,000人	第3次長計（前期）【令和7年度】																																																	
達成状況	フリー開放（アリーナで遊ぼう）については、7回実施。（5月、6月、7月、8月、12月、1月、3月） ニュースポーツ教室については、3回実施。（7月、8月、2月） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">（施設名）</th> <th style="text-align: right;">（施設利用者数） （令和6年度）</th> <th style="text-align: right;">（令和5年度）</th> <th style="text-align: right;">（令和4年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合体育館</td> <td style="text-align: right;">69,052人</td> <td style="text-align: right;">69,732人</td> <td style="text-align: right;">59,100人</td> </tr> <tr> <td>市立体育館</td> <td style="text-align: right;">42,935人</td> <td style="text-align: right;">44,390人</td> <td style="text-align: right;">41,289人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ広場</td> <td style="text-align: right;">42,894人</td> <td style="text-align: right;">44,492人</td> <td style="text-align: right;">47,513人</td> </tr> <tr> <td>根来テニスコート</td> <td style="text-align: right;">13,675人</td> <td style="text-align: right;">14,422人</td> <td style="text-align: right;">14,008人</td> </tr> <tr> <td>若もの広場ナイト</td> <td style="text-align: right;">5,961人</td> <td style="text-align: right;">7,389人</td> <td style="text-align: right;">9,600人</td> </tr> <tr> <td>根来テニスコートナイト</td> <td style="text-align: right;">3,384人</td> <td style="text-align: right;">1,719人</td> <td style="text-align: right;">1,435人</td> </tr> <tr> <td>大宮緑地総合運動公園</td> <td style="text-align: right;">8,705人</td> <td style="text-align: right;">56,184人</td> <td style="text-align: right;">11,394人</td> </tr> <tr> <td>市民プール</td> <td style="text-align: right;">11,266人</td> <td style="text-align: right;">10,576人</td> <td style="text-align: right;">6,477人</td> </tr> <tr> <td>トレーニングジム</td> <td style="text-align: right;">38,939人</td> <td style="text-align: right;">31,634人</td> <td style="text-align: right;">26,037人</td> </tr> <tr> <td>いきいき広場</td> <td style="text-align: right;">3,207人</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">240,018人</td> <td style="text-align: right;">280,538人</td> <td style="text-align: right;">216,853人</td> </tr> </tbody> </table>				（施設名）	（施設利用者数） （令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	総合体育館	69,052人	69,732人	59,100人	市立体育館	42,935人	44,390人	41,289人	スポーツ広場	42,894人	44,492人	47,513人	根来テニスコート	13,675人	14,422人	14,008人	若もの広場ナイト	5,961人	7,389人	9,600人	根来テニスコートナイト	3,384人	1,719人	1,435人	大宮緑地総合運動公園	8,705人	56,184人	11,394人	市民プール	11,266人	10,576人	6,477人	トレーニングジム	38,939人	31,634人	26,037人	いきいき広場	3,207人	—	—	計	240,018人	280,538人	216,853人
（施設名）	（施設利用者数） （令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）																																																	
総合体育館	69,052人	69,732人	59,100人																																																	
市立体育館	42,935人	44,390人	41,289人																																																	
スポーツ広場	42,894人	44,492人	47,513人																																																	
根来テニスコート	13,675人	14,422人	14,008人																																																	
若もの広場ナイト	5,961人	7,389人	9,600人																																																	
根来テニスコートナイト	3,384人	1,719人	1,435人																																																	
大宮緑地総合運動公園	8,705人	56,184人	11,394人																																																	
市民プール	11,266人	10,576人	6,477人																																																	
トレーニングジム	38,939人	31,634人	26,037人																																																	
いきいき広場	3,207人	—	—																																																	
計	240,018人	280,538人	216,853人																																																	
予算執行	当初予算額	102,528,000円	決算額	123,560,253円																																																
	補正等	22,823,000円																																																		
	予算額	125,351,000円																																																		
評価	C	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																																																		
事業課題等	施設の利用者数については、いわで夏祭りが中止になり利用者数は減っているが全体的に復調傾向にあるが、コロナ禍前の水準には達していない。 その中で、施設の安全面を強化し、市民が快適に利用できるよう整備を行い、利用者数の増加につなげたい。																																																			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																																															

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																																																									
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 スポーツ環境の整備																																																									
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課																																																								
事業名	スポーツ施設整備事業																																																											
事業の目的	市民の方々に、安全かつ快適に利用してもらうために、体育施設の整備を充実させる。																																																											
事業概要	施設の整備・点検・改修工事等を実施する。																																																											
目標 (評価指標)	なし	理由	修繕や工事の類を事業としているため																																																									
達成状況	・工事実績 <table border="0"> <tr><td>大宮緑地総合運動公園法面草刈工事</td><td>1,698,400円</td></tr> <tr><td>根来若もの広場西側駐車場樹木伐採工事</td><td>792,000円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園内蓋取替工事</td><td>1,870,000円</td></tr> <tr><td>岩出市立体育館LED化照明改修工事</td><td>14,960,000円</td></tr> <tr><td>岩出市立体育館バスケットゴール取替工事</td><td>3,175,700円</td></tr> <tr><td>新池（根来）伐竹工事</td><td>1,419,000円</td></tr> <tr><td>根来若もの広場等トイレ修繕工事</td><td>1,199,000円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園内蓋取替工事その2</td><td>495,000円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園内舗装工事</td><td>1,494,900円</td></tr> <tr><td>市民総合体育館消防用設備等修繕工事</td><td>829,400円</td></tr> <tr><td>岩出市立体育館LED化照明改修工事その2</td><td>1,265,000円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設天然芝維持管理工事その2</td><td>1,950,300円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設案内看板設置工事</td><td>1,233,100円</td></tr> </table> (繰越) <table border="0"> <tr><td>高齢者用スポーツ施設天然芝維持管理工事その1</td><td>1,272,700円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設量水標移設工事</td><td>6,564,000円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設根固めブロック設置工事その2</td><td>3,605,000円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設舗装工事</td><td>25,068,000円</td></tr> </table> ・修繕実績 <table border="0"> <tr><td>大宮緑地総合運動公園内ポール式時計補修修繕</td><td>47,630円</td></tr> <tr><td>総合体育館大ホール音響設備修繕</td><td>345,400円</td></tr> <tr><td>総合体育館小ホール系統給水式冷温水機冷却水配管修繕</td><td>99,000円</td></tr> <tr><td>総合体育館東側出入口水溜り修繕</td><td>99,880円</td></tr> <tr><td>根来総合運動広場サッカー場ネットフェンス修繕</td><td>165,000円</td></tr> <tr><td>総合体育館小ホール手すり取付け修繕</td><td>88,000円</td></tr> <tr><td>岩出市立市民総合体育館漏水修繕</td><td>98,109円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園内通路整備修繕</td><td>440,000円</td></tr> <tr><td>岩出市立体育館階段タイル剥がれ補修修繕</td><td>33,000円</td></tr> <tr><td>総合体育館玄関前ポーチ街路灯修繕</td><td>198,000円</td></tr> <tr><td>根来若もの広場グラウンド漏水修繕</td><td>30,800円</td></tr> </table>				大宮緑地総合運動公園法面草刈工事	1,698,400円	根来若もの広場西側駐車場樹木伐採工事	792,000円	大宮緑地総合運動公園内蓋取替工事	1,870,000円	岩出市立体育館LED化照明改修工事	14,960,000円	岩出市立体育館バスケットゴール取替工事	3,175,700円	新池（根来）伐竹工事	1,419,000円	根来若もの広場等トイレ修繕工事	1,199,000円	大宮緑地総合運動公園内蓋取替工事その2	495,000円	大宮緑地総合運動公園内舗装工事	1,494,900円	市民総合体育館消防用設備等修繕工事	829,400円	岩出市立体育館LED化照明改修工事その2	1,265,000円	高齢者用スポーツ施設天然芝維持管理工事その2	1,950,300円	高齢者用スポーツ施設案内看板設置工事	1,233,100円	高齢者用スポーツ施設天然芝維持管理工事その1	1,272,700円	高齢者用スポーツ施設量水標移設工事	6,564,000円	高齢者用スポーツ施設根固めブロック設置工事その2	3,605,000円	高齢者用スポーツ施設舗装工事	25,068,000円	大宮緑地総合運動公園内ポール式時計補修修繕	47,630円	総合体育館大ホール音響設備修繕	345,400円	総合体育館小ホール系統給水式冷温水機冷却水配管修繕	99,000円	総合体育館東側出入口水溜り修繕	99,880円	根来総合運動広場サッカー場ネットフェンス修繕	165,000円	総合体育館小ホール手すり取付け修繕	88,000円	岩出市立市民総合体育館漏水修繕	98,109円	大宮緑地総合運動公園内通路整備修繕	440,000円	岩出市立体育館階段タイル剥がれ補修修繕	33,000円	総合体育館玄関前ポーチ街路灯修繕	198,000円	根来若もの広場グラウンド漏水修繕	30,800円
大宮緑地総合運動公園法面草刈工事	1,698,400円																																																											
根来若もの広場西側駐車場樹木伐採工事	792,000円																																																											
大宮緑地総合運動公園内蓋取替工事	1,870,000円																																																											
岩出市立体育館LED化照明改修工事	14,960,000円																																																											
岩出市立体育館バスケットゴール取替工事	3,175,700円																																																											
新池（根来）伐竹工事	1,419,000円																																																											
根来若もの広場等トイレ修繕工事	1,199,000円																																																											
大宮緑地総合運動公園内蓋取替工事その2	495,000円																																																											
大宮緑地総合運動公園内舗装工事	1,494,900円																																																											
市民総合体育館消防用設備等修繕工事	829,400円																																																											
岩出市立体育館LED化照明改修工事その2	1,265,000円																																																											
高齢者用スポーツ施設天然芝維持管理工事その2	1,950,300円																																																											
高齢者用スポーツ施設案内看板設置工事	1,233,100円																																																											
高齢者用スポーツ施設天然芝維持管理工事その1	1,272,700円																																																											
高齢者用スポーツ施設量水標移設工事	6,564,000円																																																											
高齢者用スポーツ施設根固めブロック設置工事その2	3,605,000円																																																											
高齢者用スポーツ施設舗装工事	25,068,000円																																																											
大宮緑地総合運動公園内ポール式時計補修修繕	47,630円																																																											
総合体育館大ホール音響設備修繕	345,400円																																																											
総合体育館小ホール系統給水式冷温水機冷却水配管修繕	99,000円																																																											
総合体育館東側出入口水溜り修繕	99,880円																																																											
根来総合運動広場サッカー場ネットフェンス修繕	165,000円																																																											
総合体育館小ホール手すり取付け修繕	88,000円																																																											
岩出市立市民総合体育館漏水修繕	98,109円																																																											
大宮緑地総合運動公園内通路整備修繕	440,000円																																																											
岩出市立体育館階段タイル剥がれ補修修繕	33,000円																																																											
総合体育館玄関前ポーチ街路灯修繕	198,000円																																																											
根来若もの広場グラウンド漏水修繕	30,800円																																																											

予算執行	当初予算額	68,598,000円	決算額	70,536,319円	
	補正等	3,230,000円			
	予算額	71,828,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	市民ニーズの把握については、市政懇談会・インターネット意見箱・アンケートなどが考えられるが、新施設建設にあたっては、様々な状況を勘案し総合的に判断していかなければならない。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 人権が尊重されるまち		
	【基本施策】 人権尊重の推進		【重点施策】 人権尊重の意識醸成 人権教育の推進		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	人権教育啓発事業				
事業の目的	人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広め、また未来を担う子供たちが「心豊かで思いやりのある子供」に育つことを願い、人権意識を高める。				
事業概要	人権講演会、保護者学級、小・中学生人権作文、人権ポスター				
目標 (評価指標)	なし	理由	人権に関連したテーマで講演会を市長公室・スポーツ健康係・図書館で持ち回り実施している事業であり、目標設定数値化が困難なため		
達成状況	・人権講演会（法務省人権啓発活動地方委託事業） 人権問題に対する正しい認識を広めるため、11/28ソプラノ歌手大島久美子氏を講師に迎え岩出市女性会議と共催して人権講演会を開催。参加者207名 ・保護者学級 各小学校の実情に応じて保護者学級を開催。県補助金交付対象6小学校 ・小・中学生人権作文集 小中学生の作文24点及び和歌山県人権啓発ポスターコンテスト入賞作品9点を掲載し4,700冊発行。 ・人権ポスターコンテスト応募作品 紀南文化会館（田辺市）にて開催「ふれあい人権フェスタ2024」において和歌山県人権啓発ポスターコンテスト入賞作品9点展示。 市文化祭において小中学生の作品208点展示。				
予算執行	当初予算額	1,556,000円		決算額	1,272,951円
	補正等				
	予算額	1,556,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	市民の人権意識の向上を図るため、社会情勢・実情を踏まえた案件を取り入れるなど様々なテーマで市民ニーズに即した講演会出演者の選考、開催方法の検討を要する。				
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」			

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第5章 にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち		
	【基本施策】 文化遺産の保護・活用		【重点施策】 文化遺産の調査研究と保護・活用		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	国史跡根来寺境内周辺保全管理事業				
事業の目的	『史跡根来寺境内保存管理計画書』に基づき、事業効果を総合的・多面的に評価しながら史跡根来寺境内周辺の保全・管理を図る。				
事業概要	史跡根来寺境内とその周辺について検討を要する事案が生じたときに、委員会を開催し、委員の指導助言を参考に適正な保全を図る。				
目標 (評価指標)	なし	理由	目標値の設定にはそぐわないため。		
達成状況	国史跡根来寺境内とその周辺において、検討を要する事案について各委員と個別に協議や意見交換等を行い、必要に応じて委員会を開催し、史跡根来寺境内周辺保全管理について検討することができた。 2月20日に開催した委員会では、現地指導並びに根来寺湊御殿旧本坊客殿新築工事に伴う埋蔵文化財確認調査や根来寺名草御殿屋根き損状況等について指導・助言をいただいた。				
予算執行	当初予算額	232,000円		決算額 36,285円	
	補正等				
	予算額	232,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	根来寺本坊新築工事については、令和7年度中に埋蔵文化財の確認調査を適切に実施し、保護資料を作成するとともに埋蔵文化財の保護を図っていく必要がある。 関係機関と連携し、史跡並びに名勝の適切な管理を行うため、引き続き委員会の助言を受けながら関係機関との密なる連携と情報の共有を図り対応していく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第5章 にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち		
	【基本施策】 文化遺産の保護・活用		【重点施策】 文化遺産の調査研究と保護・活用 文化遺産の公開		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	文化遺産保存活用事業				
事業の目的	岩出市内に所在する文化財を適切に保存・管理し、次世代に継承していく。 岩出市内に所在する文化遺産の保存と活用を図る。				
事業概要	指定文化財等の保存・管理・修理・保全に要する経費の一部を補助する。文化財の資料の整理と保管を行う。文化遺産の保存・活用のための必要な措置を講じる。埋蔵文化財等の公開・活用を行う。				
目標 (評価指標)	なし	理由	目標値の設定にはそぐわないため。		
達成状況	・指定文化財管理補助 増田家住宅（国指定） 64,000円 自動火災報知設備保守点検、環境整備 上岩出神社（県指定） 35,000円 自動火災報知設備保守点検 荒田神社（県指定） 27,000円 自動火災報知設備保守点検 根来寺しだれ桜（市指定） 150,000円 しだれ桜の樹勢維持管理 栄福寺イブキビャクシン（県指定） 495,000円 環境整備 正覚寺ムクの木（県指定） 環境整備 87,000円 環境整備 ・指定文化財修理補助 絹本著色鳥羽天皇像（国指定） 224,000円 保存修理 荒田神社（県指定） 537,000円 自動火災報知設備等交換 ・指定文化財環境整備 船戸山古墳群（県指定） 179,818円 支障木伐採 西国分塔跡（国指定）・下中島の大イチョウ（県指定）・船戸山古墳群（県指定） 238,031円 草刈り等 ・栄福寺・正覚寺（県指定） 40,000円 天然記念物の環境整備に伴う指導 ・根来寺遺跡出土遺物（金属製品） 215,050円 保存処理業務 ・船戸山古墳群（県指定）880,000円 保存活用事業（2号墳の環境整備） ・文化財保護審議会の開催 4回開催 ・埋蔵文化財の公開・活用 3件 ねごろ歴史資料館コーナー展示 ほか ・文化遺産普及啓発件数 実施件数 10件 パネル展示、ふるさと歴史学習会、日本遺産公開講座 ・講師等派遣事業 5件 教職員初任者研修講師、小学校出前授業4校、				
予算執行	当初予算額	6,484,000円	決算額	4,721,916円	
	補正等				
	予算額	6,484,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	指定文化財はもとより、未指定文化財を保護する施策が必要である。未指定文化財の保護を図るため、岩出市文化財保存活用地域計画を策定していく中で、岩出市文化遺産の認定制度の設置に向けて取り組む。 少子高齢化や生活様式の変化などにより、地域に根付いている文化財の継承が困難になってきている。 市民ニーズを的確に把握し、市民への文化財に対する関心を高めるふるさと意識の醸成を図っていく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第5章 にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち		
	【基本施策】 歴史・伝統文化の振興		【重点施策】 伝統文化の継承		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	生涯学習課	
事業名	根来の子守唄等保存活用事業				
事業の目的	古くから唄い継がれてきた「子守唄」の貴重な文化遺産を末永く後世に引き継ぎ、地域文化の発展に寄与することを目的とする。				
事業概要	市民や各種団体との協働による様々な事業を通して、文化資源の普及・啓発に努める。				
目標 (評価指標)	なし	理由	目標値の設定にはそぐわないため。		
達成状況	・補助金事業 岩出市文化資源・観光資源継承事業に対する補助金 300,000円 「子守唄 唄いつなごう 根来から」9月14日開催、場所：旧和歌山県議会議事堂 主催：根来の子守唄保存会 ・普及・啓発事業 根来の子守唄の歴史的価値等の評価（有識者4名による評価） 根来のふるさと学習「うたわんかい おどらんかえ こもりうた！」11月7日開催 場所：根来小学校（出前授業 1学年対象） ふるさと感動物語「近代のいわで その魅力に迫る！」2月22日開催 場所：旧和歌山県議会議事堂 小中学生による根来の子守唄つくしを立ち上げるなど、地域の方々と協働し、ふるさとの文化を発信することができた。				
予算執行	当初予算額	1,249,000円	決算額	583,946円	
	補正等				
	予算額	1,249,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	根来の子守唄を身近な生活の中に息づかせるための実践が必要である。 小中学生で組織する「根来の子守唄つくし」の活動支援に努める。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 図書館事業の充実（図書館運営事業）		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	岩出図書館	
事業名	図書館利用促進事業				
事業の目的	図書紹介や行事案内、サービス内容など様々な情報を発信したり、イベント事業、講演会を開催することにより、市民の図書館に対する理解や関心を深め、図書館利用の促進を図る。				
事業概要	映画会・各種体験教室の開催。図書館主催事業として、利用促進講座を開催。図書館サービスの向上				
目標 （評価指標）	令和6年度図書館評価目標値		図書館入館者数 図書館貸出冊数 149,100名 363,950冊		
	第3次長計（前期）【令和7年度】		— 447,000冊		
	実施計画【令和7年度】		192,000名 —		
達成状況	【主な事業】				
	子供向け体験教室		104名参加（4回実施）		
	映画会		494名参加（15回実施）		
	講座・講演会		250名参加（8回実施）		
	その他イベント		679名参加（14回実施）		
	【入館者数・貸出冊数】				
		入館者数（名）		貸出冊数（冊）	
		令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
	岩出図書館	136,219	122,477	326,597	329,630
	駅前ライブラリー	7,101	7,704	10,039	11,593
総合保健福祉センター図書室	9,969	10,600	10,262	9,481	
中央公民館図書室	1,112	1,010	532	700	
上岩出地区公民館図書室	771	797	840	892	
計	155,172	142,588	348,270	352,296	
目標達成率	104.0%	98.2%	95.7%	95.3%	
予算執行	当初予算額	185,000円		決算額	159,152円
	補正等				
	予算額	185,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	入館者数は増加したものの、貸出冊数が伸び悩み前年度よりも減少した。イベントへの参加者数は微増しているが、貸出冊数につながっていない。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 図書館事業の充実（図書館運営事業）		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	岩出図書館	
事業名	図書館ボランティア活動支援事業				
事業の目的	図書館ボランティアの協力を得て各種の講座や催しを行っており、ボランティア活動の活性化を図るため様々な支援を行う。				
事業概要	ボランティアの募集・登録、養成講座の実施 高校生ボランティアの募集・登録及び活動支援（書架整理・映画会・おはなし会・美化活動・図書の補修等）				
目標 （評価指標）	ボランティア登録人数		実施計画【令和7年度】80名		
達成状況	【ボランティア登録者数】 3月末現在 82名 目標達成率102.5%				
	【養成講座】 2回実施 11名受講（うち4名が活動中）				
	【図書館ボランティア活動】				
	おはなし会	毎週日曜日・不定期	54回	809名	
	映画会グループ（映画会）	7/15・10/19・1/11・3/16	4回	138名	
	展示グループ	壁面飾りの製作及び展示			
	創作グループ	布絵本の製作			
	補修グループ	本の補修、装備等（毎週金曜日）			
	PRグループ（映画会チラシ作成）	ボランティア主催映画会のチラシ作成（4回）			
ストーリーテリンググループ	上岩出小学校でストーリーテリングの実施（毎週金曜日）				
達成状況	【高校生ボランティア】 4校29名受入 【大学生等ボランティア】 3校 4名受入				
予算執行	当初予算額	95,000円	決算額	52,597円	
	補正等				
	予算額	95,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	継続的に活動していただける図書館ボランティアの養成が課題。学生ボランティアについては、学生にとって学校での単位取得や「ガクチカ」の一助となるよう努める。また図書館にとっては継続的に活動していただける若い人の発想や力により、魅力ある事業の実施に努める。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート(令和6年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																										
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 図書館事業の充実(図書館運営事業)																										
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	岩出図書館																									
事業名	図書館図書購入事業																												
事業の目的	地域密着型図書館として、愛され親しまれ、幼児から高齢者の利用が多い図書資料の収集から、図書館に行けばなんでも調査研究ができるように、各分野に亘って広く購入することで、図書資料の充実を図る。																												
事業概要	図書館法第3条並びに岩出図書館基本計画に基づく、図書購入 令和12年度 図書・視聴覚資料 433,520冊 電子書籍 2,356コンテンツ																												
目標 (評価指標)	<table border="1"> <tr> <td>岩出図書館蔵書冊数</td> <td>433,520冊目標</td> </tr> <tr> <td>図書館評価(令和6年度末)</td> <td>目標値(全館・室)</td> </tr> <tr> <td>図書・視聴覚資料</td> <td>378,000冊</td> </tr> <tr> <td>【再掲】郷土資料</td> <td>4,900冊</td> </tr> <tr> <td>CD</td> <td>2,490点</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>3,180点</td> </tr> <tr> <td>電子書籍</td> <td>1,678コンテンツ</td> </tr> </table>				岩出図書館蔵書冊数	433,520冊目標	図書館評価(令和6年度末)	目標値(全館・室)	図書・視聴覚資料	378,000冊	【再掲】郷土資料	4,900冊	CD	2,490点	DVD	3,180点	電子書籍	1,678コンテンツ											
岩出図書館蔵書冊数	433,520冊目標																												
図書館評価(令和6年度末)	目標値(全館・室)																												
図書・視聴覚資料	378,000冊																												
【再掲】郷土資料	4,900冊																												
CD	2,490点																												
DVD	3,180点																												
電子書籍	1,678コンテンツ																												
達成状況	【令和6年度実績】 (単位:冊/点) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発注予定冊/点数</th> <th>発注実績冊/点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図 書</td> <td>9,000</td> <td>9,319</td> </tr> <tr> <td>視聴覚資料</td> <td>120</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,120</td> <td>9,439</td> </tr> <tr> <td>電子書籍</td> <td>230</td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table> 【目標達成率】 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>100.2%</td> </tr> <tr> <td>郷土資料</td> <td>99.8%</td> </tr> <tr> <td>CD</td> <td>99.9%</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>99.9%</td> </tr> <tr> <td>電子書籍</td> <td>100.2%</td> </tr> </tbody> </table>					発注予定冊/点数	発注実績冊/点数	図 書	9,000	9,319	視聴覚資料	120	120	合計	9,120	9,439	電子書籍	230	230	蔵書冊数	100.2%	郷土資料	99.8%	CD	99.9%	DVD	99.9%	電子書籍	100.2%
	発注予定冊/点数	発注実績冊/点数																											
図 書	9,000	9,319																											
視聴覚資料	120	120																											
合計	9,120	9,439																											
電子書籍	230	230																											
蔵書冊数	100.2%																												
郷土資料	99.8%																												
CD	99.9%																												
DVD	99.9%																												
電子書籍	100.2%																												
予算執行	当初予算額	24,342,000円	決算額	23,914,168円																									
	補 正 等																												
	予 算 額	24,342,000円																											
評 価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																											
事業課題等	全体的に蔵書は充実している。今後、郷土資料及び寄贈図書等の登録を積極的に行い、資料の充実に努める。																												
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」																											

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	岩出図書館	
事業名	子供読書活動推進事業（青少年読書推進事業）				
事業の目的	青少年健全育成の観点から、児童、青少年に図書館を活用し本の魅力を知ってもらうため、読書活動を推進する。				
事業概要	絵本の収集やおはなし会を開催。ヤングアダルトコーナーを設置し資料の充実を図る。また子供読書活動推進計画を策定し、子供読書活動の推進事業として、子供の読書活動を応援するとともに、読書活動への関心と理解を深めるよう取り組む。				
目標 (評価指標)	児童書蔵書冊数 令和6年度図書館評価目標値 105,450冊 実施計画【令和7年度】 109,000冊				
達成状況	【活動実績】				
	中高生ビブリオバトル岩出市大会		バトラー中学生6名・高校生3名、オーディエンス48名 計57名		
	施設見学受入		18件		
	職場体験受入		中学校2校5名		
	保育所訪問		4園		
	おはなし会（ボランティア活動含む）		72回		
	小学校就学時健診でのうちどくPR		6校477名		
	親子読書支援事業来館(室)者		274名		
	岩出図書館司書派遣事業		年間37日、各校に司書派遣		
	【統計】				
	児童書蔵書冊数(電子書籍含まない)	児童への貸出冊数(電子書籍含む)	(参考)全貸出冊数(電子書籍含む)		
	岩出図書館(分館・分室含む)	105,612	75,241	348,270	
	目標達成率	100.2%	81.8%	95.7%	
	(参考) 令和元年度実績	88,015	112,598	421,874	
予算執行	当初予算額	568,000円	決算額	443,287円	
	補正等				
	予算額	568,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	児童への貸出冊数が伸び悩んでいる。今後、第4次岩出市子供読書活動推進計画に基づき、対象者別に課題を捉え課題解決に向け、家庭・地域、学校等と連携し、子供の読書活動の推進に努める。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第5章 にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち		
	【基本施策】 歴史・伝統文化の振興		【重点施策】 歴史・文化資源の活用		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	民俗資料館	
事業名	民俗資料館展観事業				
事業の目的	郷土の歴史に関する内容での展観事業を行うことにより、市民や次代を担う小・中学生に郷土の歴史の情報や学習の場を提供することを目的とする。				
事業概要	地域に即した内容で、興味を持っていただけるような展示を行う。 収集資料品展（根来漆器）・企画展・特別展を開催する。				
目標 (評価指標)	秋季企画展入館者数	10,600名	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	○収集資料品展：「集まった根来漆器」 会 期：令和6年4月1日～令和7年3月31日 目標/実績 43,000名 / 42,862名（前年度41,940名） ○根来寺関連宝物展：「近世根来寺の復興のあゆみ－紀伊徳川家と根来寺学頭－」 会 期：令和6年4月1日～令和6年5月13日 目標/実績 8,000名 / 6,814名 ○秋季企画展：「江戸時代の岩出－紀伊藩との関係を中心に－」 会 期：令和6年10月16日～令和6年12月9日 目標/実績 10,900名 / 11,134名 ○関連事業の根来寺関連宝物展講演会：「江戸時代の根来のあゆみ」 実施日：令和6年4月14日 目標/実績 80名 / 26名 ○関連事業の秋季企画展講演会：「紀伊藩主の参勤交代と岩出」 実施日：令和6年11月17日 目標/実績 80名 / 39名 ○広報活動の取組 市公共施設や近隣市の資料館等の社会教育施設へのポスター掲示依頼、市広報・ウェブサイトへの掲載、テレビ和歌山のデータ放送や行政情報の放映などを行った。				
予算執行	当初予算額	663,000円	決算額	236,848円	
	補正等	△23,000円			
	予算額	640,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	期間中の入館者数が目標人数を上回った展示もあったが、根来寺関連宝物展は下回り、根来寺関連宝物展講演会・秋季企画展講演会とも参加者数が過半数以下。展示のテーマの設定に課題があったと考えられる。今後もより楽しんで頂ける内容の展観事業を行うとともに、関連施設などへポスターの掲示を依頼し、掲載場所を増やすことでPRの充実に努める。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第5章 にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち		
	【基本施策】 歴史・伝統文化の振興		【重点施策】 歴史・文化資源の活用		
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		担当課	民俗資料館	
事業名	民俗資料館歴史学習・講座事業				
事業の目的	講演会や歴史講座とあわせて、職員等による歴史学習会を実施し、市民に様々な角度から郷土の歴史や成り立ちについて学びふれあう機会を提供する。				
事業概要	地域に即した内容で、各世代が興味を持って学ぶことができるようなテーマや講師を選定し、多くの市民の方に参加いただけるような講演会・講座・学習会を開催する。				
目標 (評価指標)	歴史講座の合計参加人数	170名	第3次長計（前期）【令和7年度】		
達成状況	○歴史講座 参加人数計 167名 ・第1回 令和6年6月22日 テーマ「岩橋千塚古墳群について」 目標人数/参加人数（申込人数） 56名 / 53名 （53名） ・第2回 令和6年10月20日 テーマ「雑賀衆と根来衆」 目標人数/参加人数（申込人数） 56名 / 57名 （62名） ・第3回 令和6年12月22日 テーマ「紀州藩の御殿」 目標人数/参加人数（申込人数） 56名 / 57名 （64名） ○ふるさと歴史学習会（生涯学習課と共催） 実施日：令和6年11月16日 目標/実績 20名 / 12名 ○子ども歴史学習会 ・第1回 令和6年7月21日 テーマ「まが玉づくり」 目標人数/参加人数（申込人数） 20名 / 47名 （56名） ・第2回 令和6年7月27日 テーマ「はにわづくり」 目標人数/参加人数（申込人数） 20名 / 47名 （55名） ・第3回 令和6年8月10日 テーマ「ふうりんづくり」 目標人数/参加人数（申込人数） 20名 / 46名 （63名） ・第4回 令和6年12月21日 テーマ「土器作り体験」 目標人数/参加人数（申込人数） 20名 / 20名 （22名） ○広報活動の取組 市公共施設や近隣市の資料館等の社会教育施設へのポスター掲示依頼、市広報・ウェブサイトへの掲載、テレビ和歌山のデータ放送や行政情報の放映などを行った。				
予算執行	当初予算額	224,000円	決算額	180,966円	
	補正等				
	予算額	224,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	野外で実施したふるさと歴史学習会は、定員の半分程度の参加にとどまった。多くの方に参加いただくためにニーズに合ったテーマを設定して内容の充実を図るとともに実施時期や実施場所についても見直す必要がある。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

岩出市教育委員会 様

令和7年度 教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出
について

私たち評価委員は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により教育委員会から委嘱を受け、令和7年8月8日及び令和7年9月8日の2回にわたり評価委員会を開催した。

令和6年度は、主要施策に「学びの場の充実と生き生きとしたスポーツ・文化活動の推進」を掲げ、教育委員会2課2館が取り組んだ47事業の評価は、昨年度と比較してa「期待以上」の評価が1事業から2事業へ、b「期待どおり」の評価が38事業から37事業へ、c「やや下回る」の評価は変わらずの8事業となった。

a評価が増えたことで、評価の面では昨年度より向上したことを認めるが、c評価の8事業は昨年度からの継続であり、学力向上や教育の情報化、スポーツ関連事業などで継続的な課題が見られる。

これらの課題の早期解決に向け、慣例にとらわれない新たな発想と、適切なマネジメントサイクルの活用を通じた継続的な事務改善を求めるものである。

教育総務課では、ICT活用による学びの質の向上には、機器の使用に関する習熟だけでなく、ICT教育の意義と今後の方向性を見据えた指導ができる教員の養成が必要である。また、年々増加傾向にある不登校児童生徒については、実態を詳細に把握し、個々のニーズに応じた相談機能の充実に努められたい。

引き続き、学校施設の長寿命化に努めるとともに、通学路の危険個所の改修を図られたい。

生涯学習課では、公民館事業や文化祭事業、生涯スポーツ事業において、若年層を含む多様な市民の意見や要望を定期的に把握し、その結果を事業内容に反映させる仕組みを構築されたい。また、SNS等のデジタル媒体を活用した広報や参加呼びかけを強化し、参加率向上に繋がられたい。

岩出図書館では、電子書籍サービスやWeb利用者カード、オンラインイベントなど、デジタル活用を一層充実させ、「非来館型利用者」の獲得と満足度向上を目指されたい。また、参加型イベントや多様な読書企画の充実により、子供の主体的な読書活動を推進されたい。

民俗資料館では、根来寺の宗教的な分野も必要であるが、市民や観光客を魅了するような展示会の内容も検討し、アンケート調査等を実施し、利用者の満足度を高める工夫をされたい。また、講義形式だけでなく、参加体験型のプログラムを充実させることで、より多様な層の集客を図られたい。

以上が岩出市教育委員会所属の２課２館の令和６年度事業に対する当委員会の意見である。

結びとして、上記の意見は、本市の教育行政が直面する課題を克服し、持続的かつ効果的な教育を推進するための提言です。次年度以降の事業計画に反映され、本市の教育の更なる発展に繋がることを切に願います。

令和７年１０月１５日

岩出市教育委員会評価委員会

委員長 鳥羽 孝幸

副委員長 奥田 富代子

委員 鈴木 晴久

令和7年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主 な 意 見
目標施策	基本施策	
心豊かな人が育つまち	学校環境の充実	✎ 教育総務課 ○ 引き続き学校施設の長寿命化に努めるとともに、通学路の危険個所の改修を図られたい。 ○ 次世代のSTEAM教育への対応等、今後の教育動向を見据えた環境の充実に努められたい。 ○ フレンドに通う児童生徒のニーズを把握し、更なる支援の充実に努められたい。 ○ 学校運営協議会と学校、教育委員会が連携し、地域の多様な人材や資源を取り入れながら、「地域とともにある学校づくり」に取り組まれたい。 ○ 学校運営協議会での協議に基づく施策について広報に努められたい。 ✎ 生涯学習課 ○ 地域に頼るばかりではなく、地域にとっても恩恵のある取組を進められたい。 ○ 今後も安定的な学校支援ボランティア確保と利用環境の改善、交流機会の拡充を図り、引き続き活発な取組を推進されたい。
	豊かな学びと学力向上	✎ 教育総務課 ○ ICT教育についてはその環境の充実にについては一定評価する。今後は機器の使用に習熟させるのみならず、ICT教育の意義と今後の方向性をしっかり見据えて指導できる教員の養成が必要である。 ○ 今後の事業継続と充実に、活動参加率の向上とともに「誰もが楽しく続けられる場作り」と「心身の状態の見える化」が重要と考える。気候面への対応策、参加へのモチベーション施策を検討・実施されたい。 ○ 夏の暑さ対策については、全国的な大会においても様々な対策が講じられている。それらを参考にしつつ新たな工夫が必要である。 ○ 給食費徴収率向上への地道な努力で、今後も滞納繰越分の早期解消の姿勢を継続されたい。 ○ 学校給食の無償化について評価する。物価高騰の折から食材確保等については引き続き尽力いただきたい。
	青少年健全育成の推進	✎ 教育総務課 ○ 児童携帯用防犯ブザー補助事業は地域の安全・安心に資する有意義な事業と評価できる。今後はより高い申請率・所持率、日常管理の啓発に取り組まれたい。 ○ 南海トラフが何時起こってもおかしくない状況において、中学生の主体的な防災行動を更に育成するため、学校管理下外や緊急時にも対応できる柔軟な行動力の育成と、地域防災活動の核となるリーダーの育成に努められたい。 ○ 職業体験の分野拡充・連携深化を図り、更に充実した取組をされたい。 ○ 生徒のキャリアにとって効果的なものになるよう、体験前後の取組の充実に努められたい。 ✎ 生涯学習課 ○ 青少年健全育成事業については、地域や関係機関との連携を深めながら、継続的な実施と事業内容の充実に努められたい。 ○ 青少年の交流の中心はSNS等に移っており、インターネットによる犯罪・被害防止等の取組の充実に努められたい。 ○ はたちのつどい事業については、社会的自覚の促進や地域への愛着心の醸成という目的を明確にし、参加者の意識向上に繋がるプログラムの工夫をされ、継続・発展させることが望まれる。

令和7年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主 な 意 見
目標施策	基本施策	
生涯学習で きるまち	文化・芸術活動の推進	 生涯学習課 ○ 文化祭事業については、コロナ以降の参加者の減少対策や、若年層の参加を促進して世代を超えた交流や地域文化の継承に繋がる取組をされたい。 ○ 文化協会助成事業については、所属クラブの活動の活性化に寄与されたい。
	生涯学習の充実	 生涯学習課 ○ 放課後子ども教室推進事業については、引き続き児童の安全・安心な居場所提供を最優先にし、教室内容の充実を図られたい。 ○ 生涯学習を考えるつどい事業については、市民が生涯学習について考え、交流する場として開催され、文化や芸術、地域教育の理解促進に寄与している。更なる参加者増加を目指し、広報活動の充実を図られたい。 ○ 公民館事業は生涯学習の重要な柱であり、今後も多様な市民ニーズの把握と柔軟な対応を通じて、地域に根差した文化、学びの拠点として更なる充実を図られたい。 ○ 公民館教室事業、公民館講座事業については、幅広い年齢層の市民のニーズを汲み、教室や講座の内容充実を図られたい。 ○ 地区公民館運営事業については、施設の長寿命化と安全対策を継続し、施設の機能強化を更に推進されたい。  岩出図書館 ○ 図書館事業の充実（図書館運営事業）について、図書館を市民にとってより身近で親しみやすい存在とするため、他館の先進的な取組を参考にしながら、多様な行事の開催に取り組むことが望まれる。また、電子書籍サービスなどのデジタル活用を推進し、非来館型利用者の獲得を図るとともに、図書館ボランティアの確保を通じて市民との協働体制を一層強化されたい。さらに、読書活動の裾野を広げることで、地域文化の継承と発展につなげる取組が期待される。 ○ 図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）については、家庭・地域・学校の連携を通じて保護者への啓発を図り、参加型イベントや多様な読書企画の充実により、子供の主体的な読書活動を促進されたい。また、今後はデジタル事業の可能性についても積極的に研究を進められたい。
	生涯スポーツの推進	 生涯学習課 ○ 市民運動会事業、総合スポーツ大会、市マラソン大会事業及びスポーツ教室事業については、引き続き市民のニーズの把握に努めるとともに、より多くの方に参加してもらえる内容となるよう工夫されたい。 ○ また、SNS等のデジタル媒体を活用し、参加の呼びかけや事業情報の発信を行うことで、参加率の向上を図られたい。 ○ スポーツ少年団助成事業、体育協会助成事業、大会等選手派遣補助事業については、生涯スポーツの振興と市民の健康づくりにおいて重要であり、今後も計画的な支援と柔軟な運営により、より良い成果を目指されたい。 ○ スポーツ施設運営事業については、施設の安全を強化し、快適に利用できるよう整備を行うとともに、施設の質向上に重点を置いた改修や更新を実施し、利用者の満足度を高め、利用者数の増加につなげられたい。また、スポーツ施設整備事業については、計画的な整備更新を進められたい。

令和7年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主 な 意 見
目標施策	基本施策	
さ 人 れ 権 る が ま 尊 ち 重	人権尊重の推進	☞ 生涯学習課 ○ 市民への情報発信を強化し、より多様な市民が主体的に参加できる人権啓発を目指されたい。 ○ 今後も人権の啓発に努めるとともに、近年増加しているSNS等の人権問題等にも取り組まれたい。
歴 史 を 守 り 文 化 を つ な ぐ ま ち	文化遺産の保護・活用	☞ 生涯学習課 ○ 近代以降の文化財や先人の発掘にも取り組まれたい。 ○ 火災・災害対策（自動火災報知設備の整備・点検など）の定期的な見直しや、劣化対策を計画的に進められたい。 ○ 「ふるさと岩出」への誇り醸成や観光振興に直結する事業である。今後も持続的で魅力ある取組をされたい。 ○ 適切な保存技術や管理のため、文化庁や県の補助・助言制度を活用されたい。
	歴史・伝統文化の振興	☞ 生涯学習課 ○ 文化資源である根来の子守唄を地域の誇り・賑わいにもつなげる事業展開をされたい。 ○ 「根来の子守唄」以外の文化財の発掘にも取り組まれたい。 ☞ 民俗資料館 ○ 展覧事業については、根来寺の宗教的な分野も必要であるが、市民や観光客を魅了するような展示会の内容も検討しアンケート調査等を実施し、より参加者の意見を反映した企画展示や講演会を開催することで、利用者の満足度を高める工夫をされたい。また、展示会では歴史的資料の展示解説の充実もされたい。 ○ 歴史学習・講座事業については、SNSや広報紙、チラシ等で講座等の周知を強化し、若年層や子育て世代など各世代の参加促進を進め、講義形式だけでなく市民等の参加体験の学習会の充実も図られたい。また、近代以降の文化財や先人の活躍等についても取り組まれたい。
	国際化の推進	☞ 教育総務課 ○ A L T活用の機会・時間の更なる拡充を図り、グローバル社会への備えをより強化する施策の取組をされたい。 ○ 英語教育については、環境（A L T等）を整えるのみならず、幼児教育から義務教育全般を通じての長期的な計画をもって取り組むのが望ましい。

○岩出市教育委員会評価等実施要綱

平成21年1月23日

教委告示第1号

(目的)

第1条 この告示は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価（以下「評価等」という。）の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

(基本方針)

第2条 教育委員会は、評価等に際し、合理的な手法を用いて、できる限り定量的に行うものとする。

2 評価等の結果は、長期総合計画に基づく実施計画及び予算に反映させるよう努めるものとする。

(評価等の実施)

第3条 各課長は、教育委員会の点検・評価シート（別記様式。以下「シート」）により、自ら所管する事務事業について毎年評価等を行い、教育長に提出するものとする。

2 教育委員会は、前項の規定により教育長に提出されたシートに検討を加え、自ら評価等を行うものとする。

(委員会)

第4条 教育委員会は、前条第2項の評価を行うに当たり、当該評価の客観性を確保するため、教育委員会評価委員会（以下「委員会」という。）を設けるものとする。

2 委員会は、次に掲げる事項について教育委員会に意見を述べるものとする。

- (1) 教育委員会が実施する評価等
- (2) 評価等の方法、公表及び報告書に関すること。
- (3) その他評価等に関する事項

(組織)

第5条 委員会は、委員3人で構成する。

2 委員は、教育に関し学識経験を有する者の中から教育委員会が委嘱する。

(委員長等)

第6条 委員会に委員長及び副委員長1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員が互選する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第7条 委員の任期は、2年とする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(評価等の公表)

第8条 教育委員会は、評価等を行った場合は、その結果に関する報告書を作成するものとする。

2 教育委員会は、前項の報告書を議会に提出するとともに、市民にわかりやすい形で公表するものとする。

(市民意見の反映)

第9条 教育委員会は、前条の報告書に関して市民から意見があったときは、その意見を評価等に反映させるよう努めるものとする。

(制度の見直し)

第10条 教育委員会は、評価等を行うに当たり、事務事業の成果を把握する手法その他評価等の方法について、その改善と発展が図られるよう随時見直しを行うものとする。

(雑則)

第11条 この告示に定めるもののほか、評価に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この告示は、平成21年4月1日から施行する。